

食品ロスに関する県民アンケート 調査結果報告書

令和4年3月

宮城県環境生活部循環型社会推進課

目 次

1. 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査方法	1
(5) 回収結果	1
(6) その他	2

2. 調査結果

①年齢	3
②お住まいの世帯構成	3
③居住市町村	3
<問1> 食品ロス問題の認知度	4
<問2> 「賞味期限」と「消費期限」の認知度	5
<問3> 「フードドライブ」の認知度	6
<問4> 「フードドライブ」の取組	7
<問5> 「フードドライブ」などに寄付しない理由	9
<問6> 食品ロス発生の有無に関する意識	12
<問7> 食品ロスの発生要因	14
<問8> 食品ロスの発生理由	19
<問9> 新型コロナウイルスによる食生活の変化	24
<問10> 食品ロス減らすための取組	30
<問11> 食品ロス削減のために食品小売業に期待すること	35
<問12> 食品ロス削減のために外食産業に期待すること	40
<問13> 食品ロス削減のために知りたい情報	43
<問14> 食品ロス問題など環境に関する情報の入手先	47
<問15> 食品ロス減らすための取組に対する意見	51
<参考1> 食品ロス問題の認知度	52
<参考2> 食品ロス減らすための取組	53
<参考3> 食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合	54
<参考資料> 食品ロスに関する県民アンケート調査票	55

1. 調査概要

(1) 調査目的

本アンケートは、日常の生活における食品との関わりの実態や、食品ロスの発生状況、食品ロス削減に向けた意見などを基に、食品ロス削減に向けた推進計画策定の参考とするための基礎データを得ることを目的とする。

(2) 調査対象

宮城県内に居住する18歳以上の男女1,000人

※人口割合に応じて比例配分し、住民基本台帳から無作為抽出

(3) 調査期間

令和3年9月1日(水)～9月21日(火)

(4) 調査方法

郵送による配付・回収

(5) 回収結果

配付数	有効回収数(※1)	有効回収率
1,000	483	48.3%

※1 有効回収数とは、回収数から白票の無効票を除いた数

<年齢別>

年齢別	配付数	有効回収数	有効回収率
20歳未満	1	0	0.0%
20代	59	21	35.6%
30代	160	64	40.0%
40代	204	92	45.1%
50代	222	103	46.4%
60代	233	138	59.2%
70歳以上	121	63	52.1%
無回答	—	2	—
合計	1000	483	48.3%

<居住圏域別>(※2)

居住圏域別	配付数	有効回収数	有効回収率
仙台都市圏	589	284	48.2%
石巻圏	79	38	48.1%
気仙沼・本吉圏	39	17	43.6%
仙南圏	132	55	41.7%
登米圏	31	11	35.5%
栗原圏	28	14	50.0%
大崎圏	102	46	45.1%
無回答	—	18	—
合計	1000	483	48.3%

※2 仙台都市圏 : 仙台市, 塩竈市, 名取市, 多賀城市, 岩沼市, 富谷市, 亶理町, 山元町, 松島町, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町, 大郷町, 大衡村

石巻圏 : 石巻市, 東松島市, 女川町

気仙沼・本吉圏 : 気仙沼市, 南三陸町

仙南圏 : 白石市, 角田市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 丸森町

登米圏 : 登米市

栗原圏 : 栗原市

大崎圏 : 大崎市, 色麻町, 加美町, 涌谷町, 美里町

(6) その他

- ・ 図中の「n」とは、回答者総数又は該当者質問での該当者数のことである。
- ・ 結果の数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、単一回答であっても100%にならない場合がある。

2. 調査結果

あなたのことについてお聞きします。〈該当する箇所に○印を付けてください〉

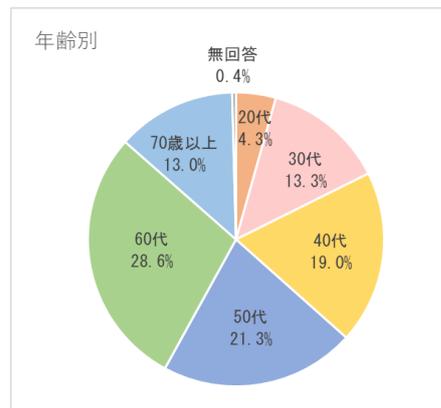
①年齢：20歳未満・20代・30代・40代・50代・60代・70歳以上

②お住まいの世帯構成：1人暮らし・2人（夫婦，親子など）・3人以上

③居住市町村：（ ）市・町・村 お住まいの市町村名を記入してください。

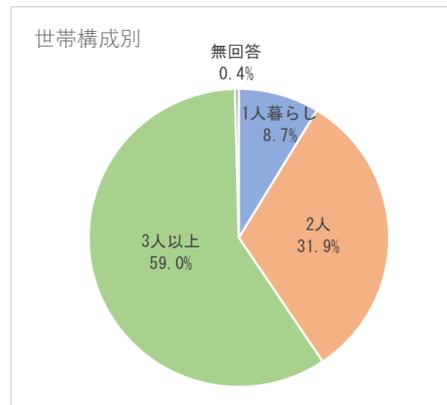
①年齢別では、60代が28.6%で最も高く、次いで50代が21.3%、40代が19.0%、30代が13.3%、70歳以上が13.0%、20代が4.3%であった。

年齢別	回答者数	割合
20歳未満	0	0.0%
20代	21	4.3%
30代	64	13.3%
40代	92	19.0%
50代	103	21.3%
60代	138	28.6%
70歳以上	63	13.0%
無回答	2	0.4%
合計	483	100.0%



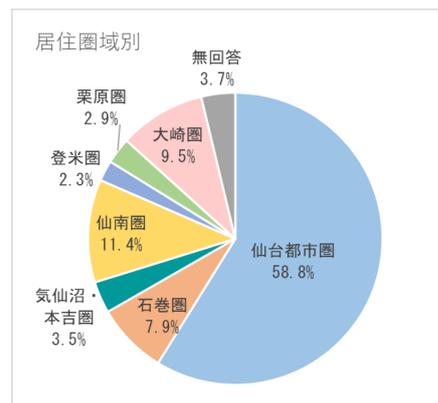
②世帯構成別では、3人以上が59.0%で最も高く、次いで2人が31.9%、1人暮らしが8.7%であった。

世帯構成別	回答者数	割合
1人暮らし	42	8.7%
2人	154	31.9%
3人以上	285	59.0%
無回答	2	0.4%
合計	483	100.0%



③居住圏域別では、仙台都市圏が58.8%で最も高く、次いで仙南圏が11.4%、大崎圏が9.5%、石巻圏が7.9%、気仙沼・本吉圏が3.5%、栗原圏が2.9%、登米圏が2.3%であった。

居住圏域別	回答者数	割合
仙台都市圏	284	58.8%
石巻圏	38	7.9%
気仙沼・本吉圏	17	3.5%
仙南圏	55	11.4%
登米圏	11	2.3%
栗原圏	14	2.9%
大崎圏	46	9.5%
無回答	18	3.7%
合計	483	100.0%



<問 1> 食品ロス問題の認知度

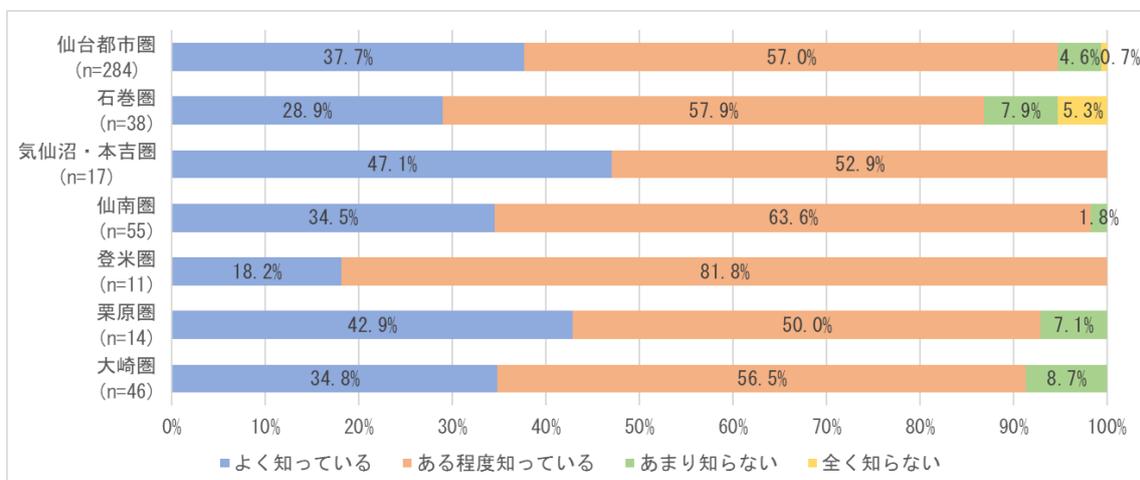
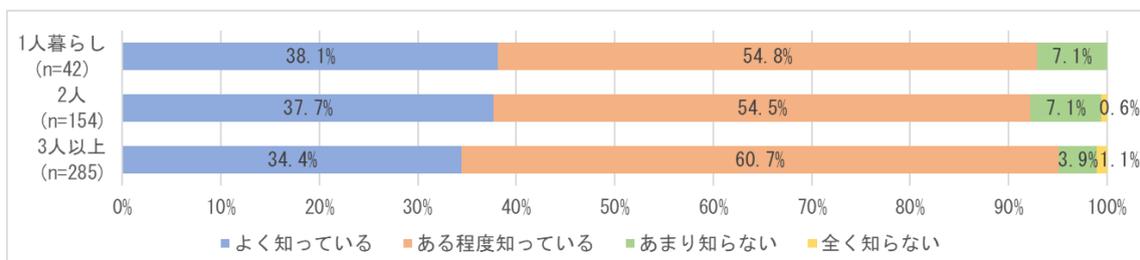
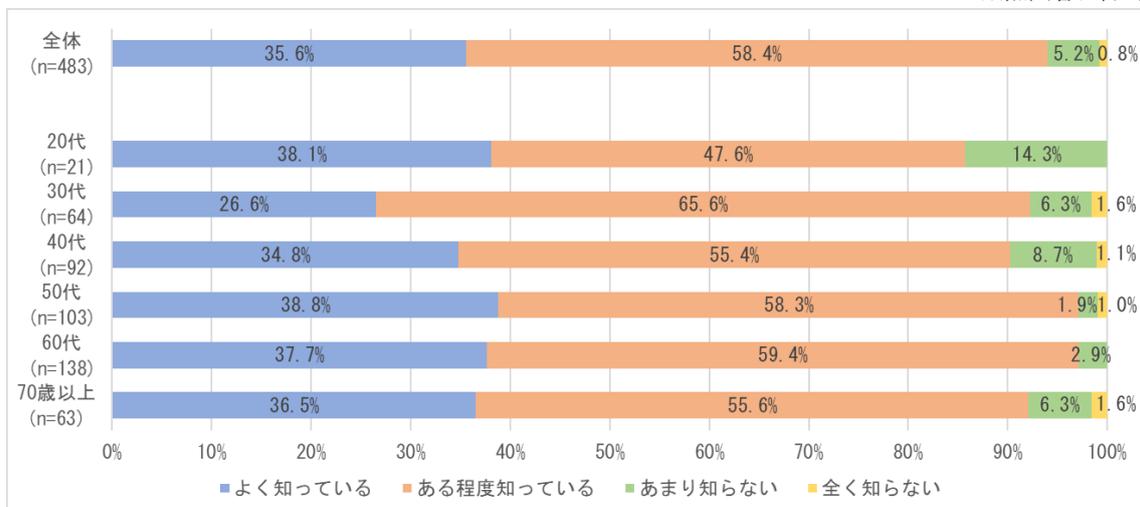
あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。

あてはまるもの1つに○を付けてください。

・「知っている」と回答した人が94.0%（「よく知っている」35.6%+「ある程度知っている」58.4%）であった。一方で、「知らない」と回答した人が6.0%（「あまり知らない」5.2%+「全く知らない」0.8%）であった。

・年齢別では、「知っている」（「よく知っている」+「ある程度知っている」と回答した人が30代以上では90%以上であり、20代では85.7%であった。

※無回答は除く

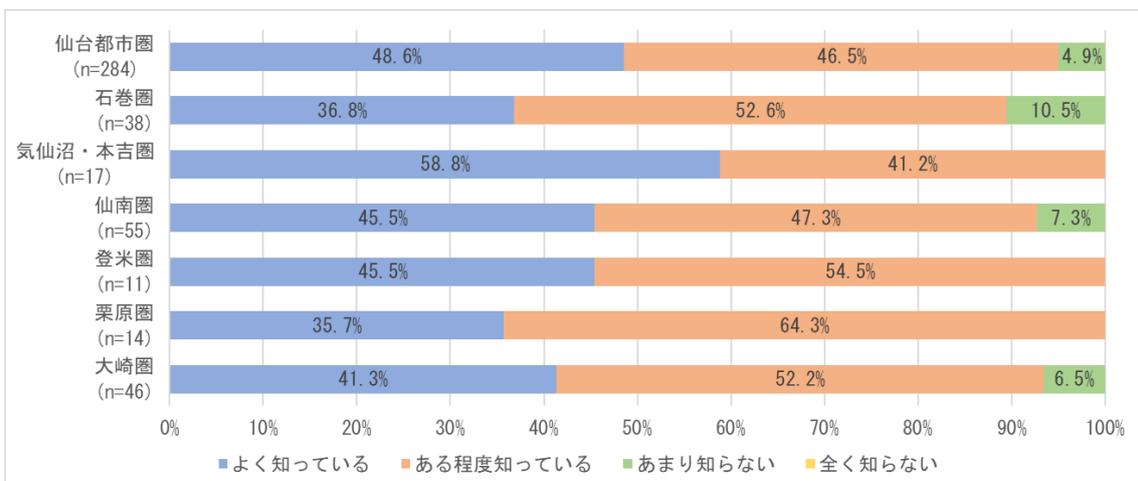
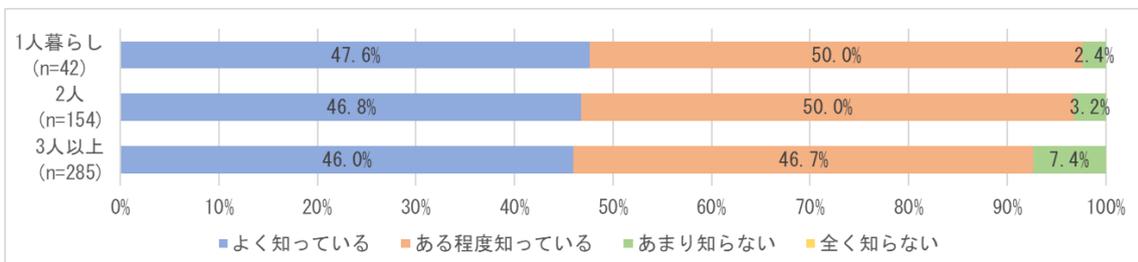
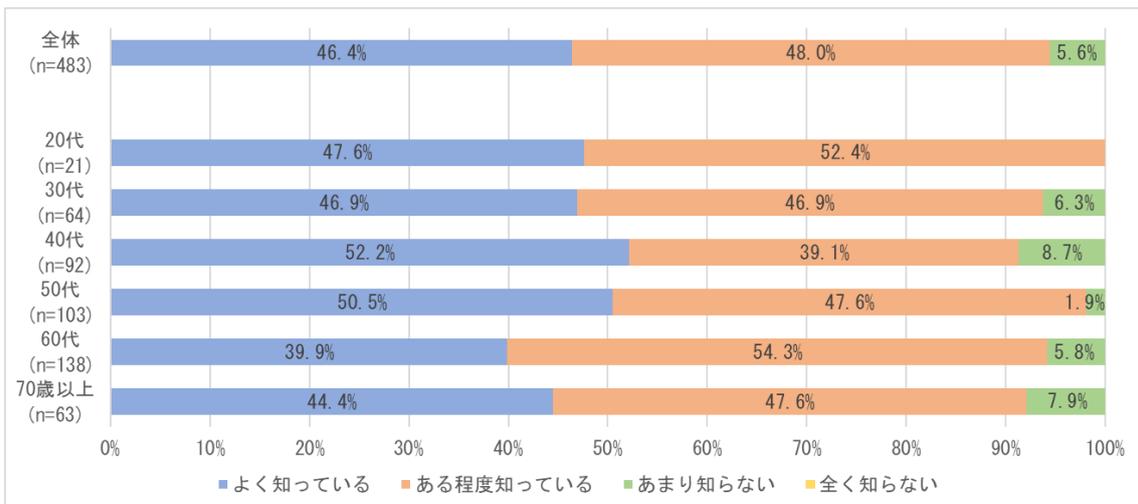


<問 2> 「賞味期限」と「消費期限」の認知度

あなたは、「賞味期限」と「消費期限」の違いを知っていますか。

あてはまるもの1つに○を付けてください。

- ・「知っている」と回答した人が94.4%（「よく知っている」46.4%+「ある程度知っている」48.0%）であった。一方で、「あまり知らない」と回答した人が5.6%であった。
- ・年齢別では、「知っている」（「よく知っている」+「ある程度知っている」）と回答した人がすべての年代において90%以上であった。



<問3>「フードドライブ」の認知度

あなたは、「フードドライブ」という活動を聞いたことがありますか。

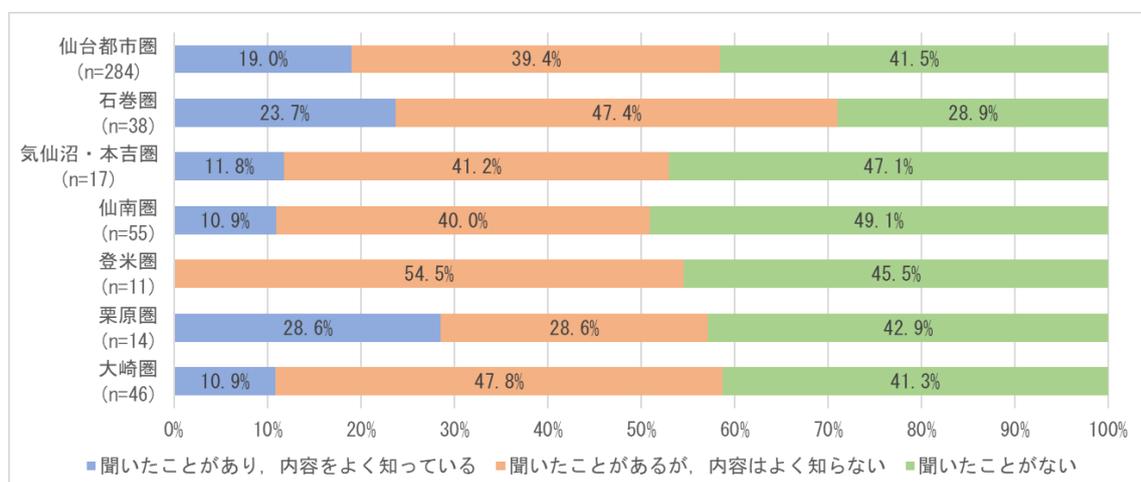
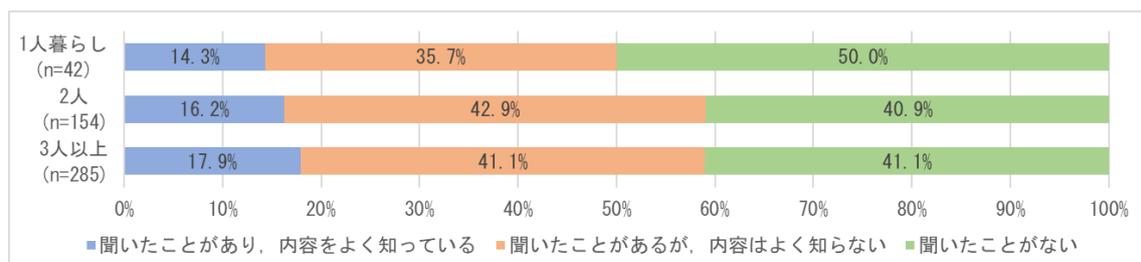
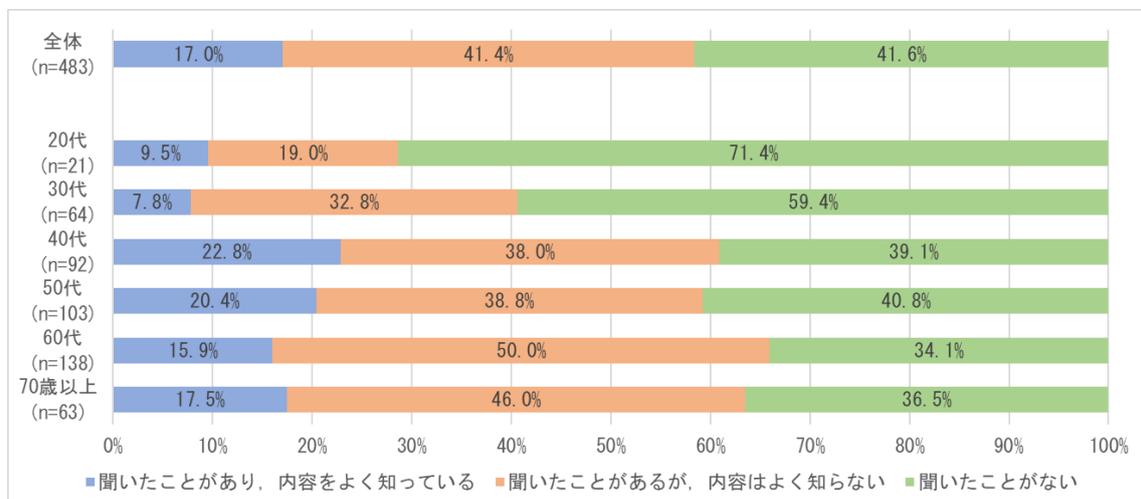
あてはまるもの1つに○を付けてください。

・「聞いたことがない」と回答した人が41.6%で最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が41.4%、「聞いたことがあるが、内容をよく知っている」が17.0%であった。

・年齢別では、「聞いたことがない」と回答した人が、20代で71.4%、30代で59.4%と高かった。

・世帯構成別では、「聞いたことがない」と回答した人が、1人暮らしで50.0%と最も高かった。

※無回答は除く



<問 4>「フードドライブ」の取組

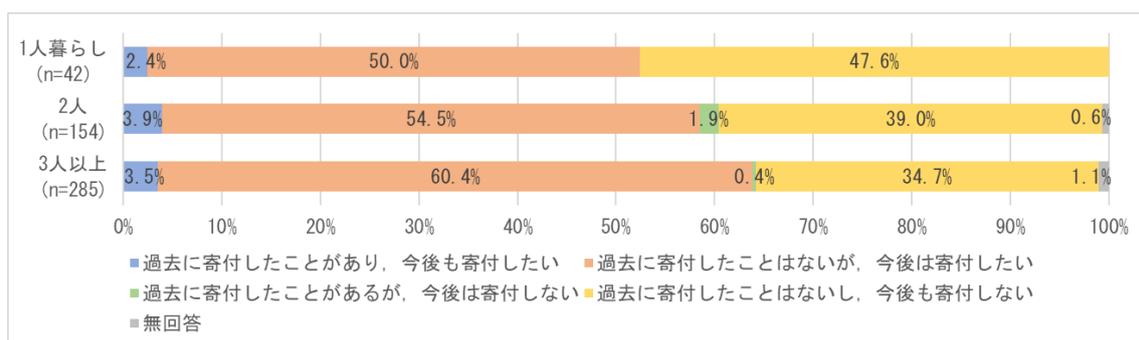
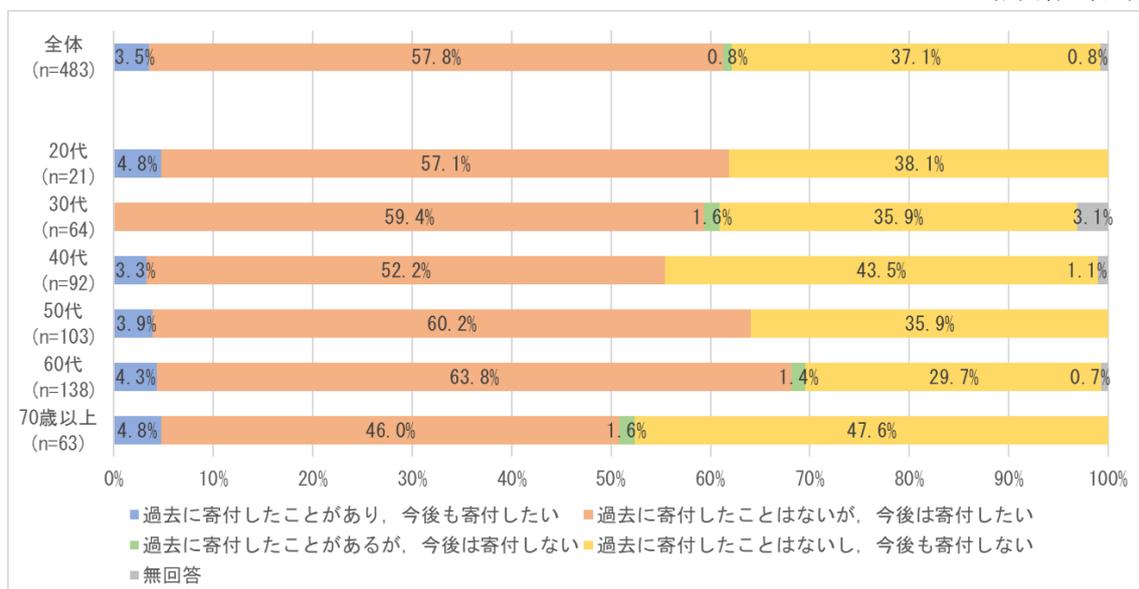
あなたは、「フードドライブ」などにより、食品を寄付したことがありますか。

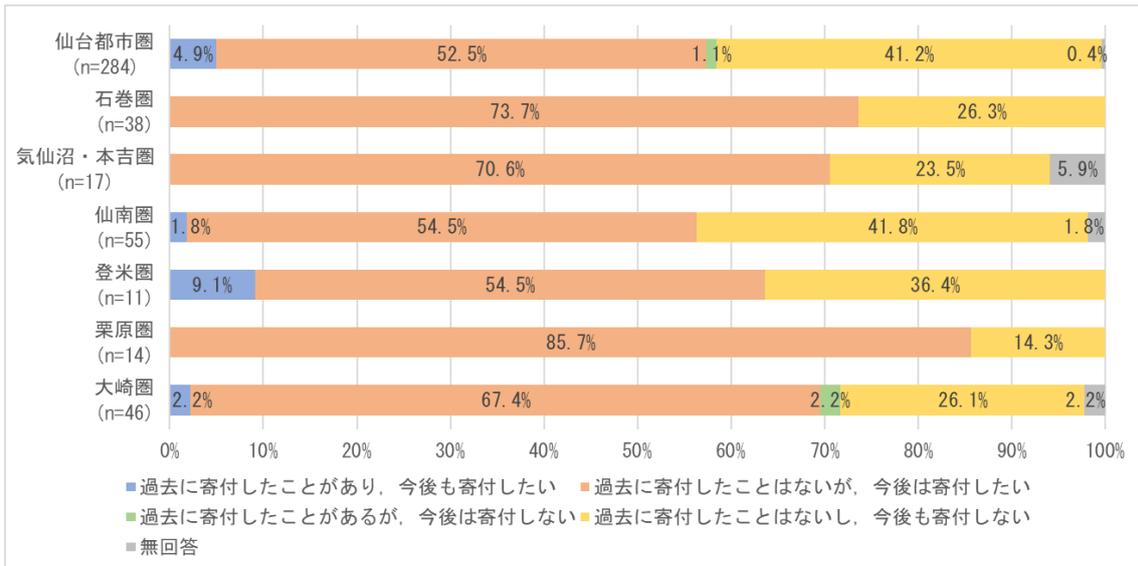
あてはまるもの1つに○を付けてください。

・「過去に寄付したことはないが、今後は寄付したい」と回答した人が 57.8%で最も高く、次いで「過去に寄付したことはないし、今後も寄付しない」が 37.1%、「過去に寄付したことがあります、今後は寄付したい」が 3.5%、「過去に寄付したことがあるが、今後は寄付しない」が 0.8%であった。

・世帯構成別では、「過去に寄付したことはないが、今後は寄付したい」と回答した人が 3人以上で 60.4%と最も高く、「過去に寄付したことはないし、今後も寄付しない」と回答した人は 1人暮らしで 47.6%と最も高かった。

※無回答は除く

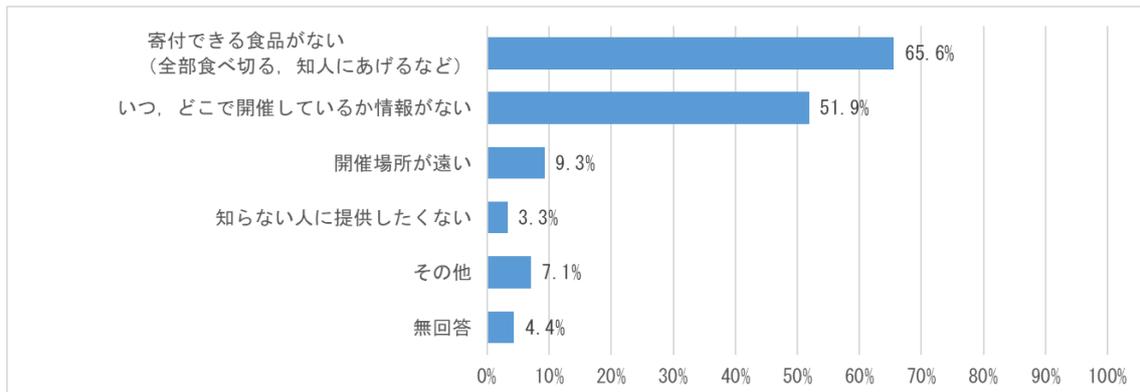




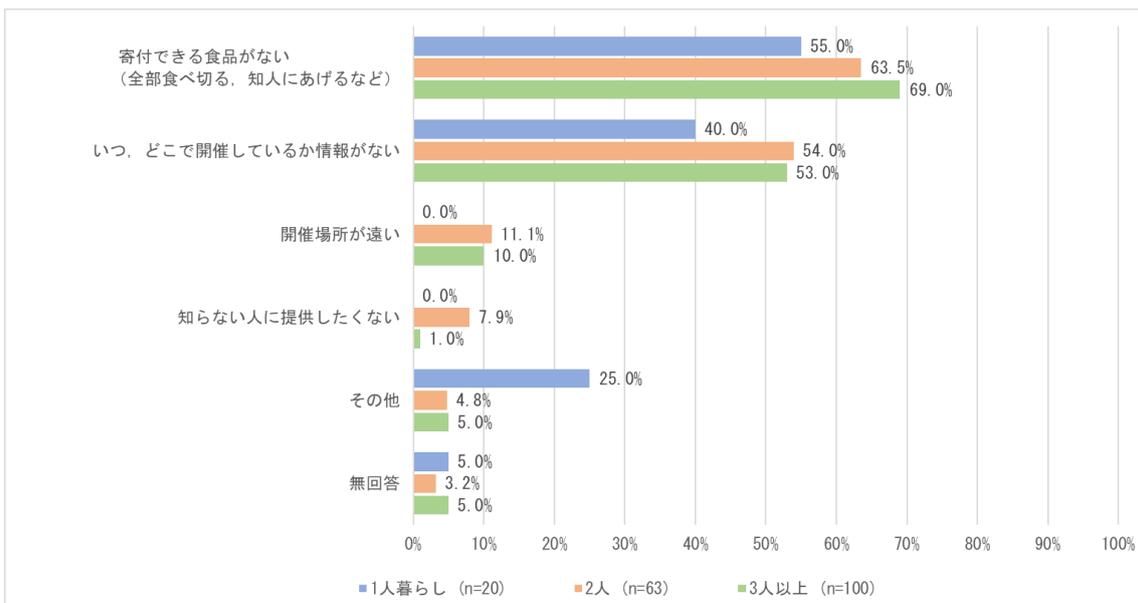
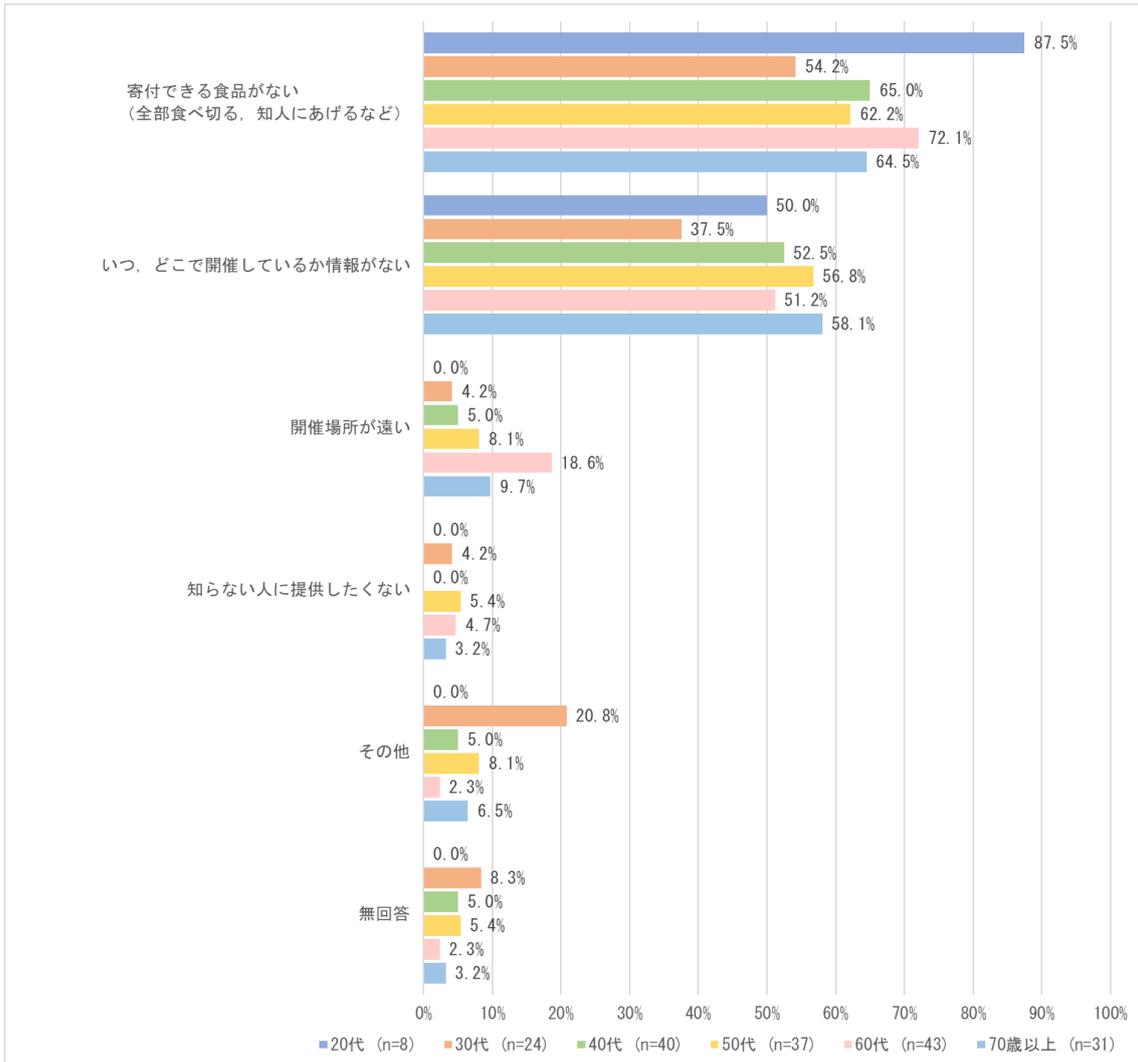
＜問 5＞「フードドライブ」などに寄付しない理由

問 4 で「3 過去に寄付したことがあるが、今後は寄付しない」、または、
「4 過去に寄付したことはないし、今後も寄付しない」と回答した方にお伺いします。
差し支えなければ、今後は寄付しない、今後も寄付しない理由についてあてはまるもの
全てに○を付けてください。

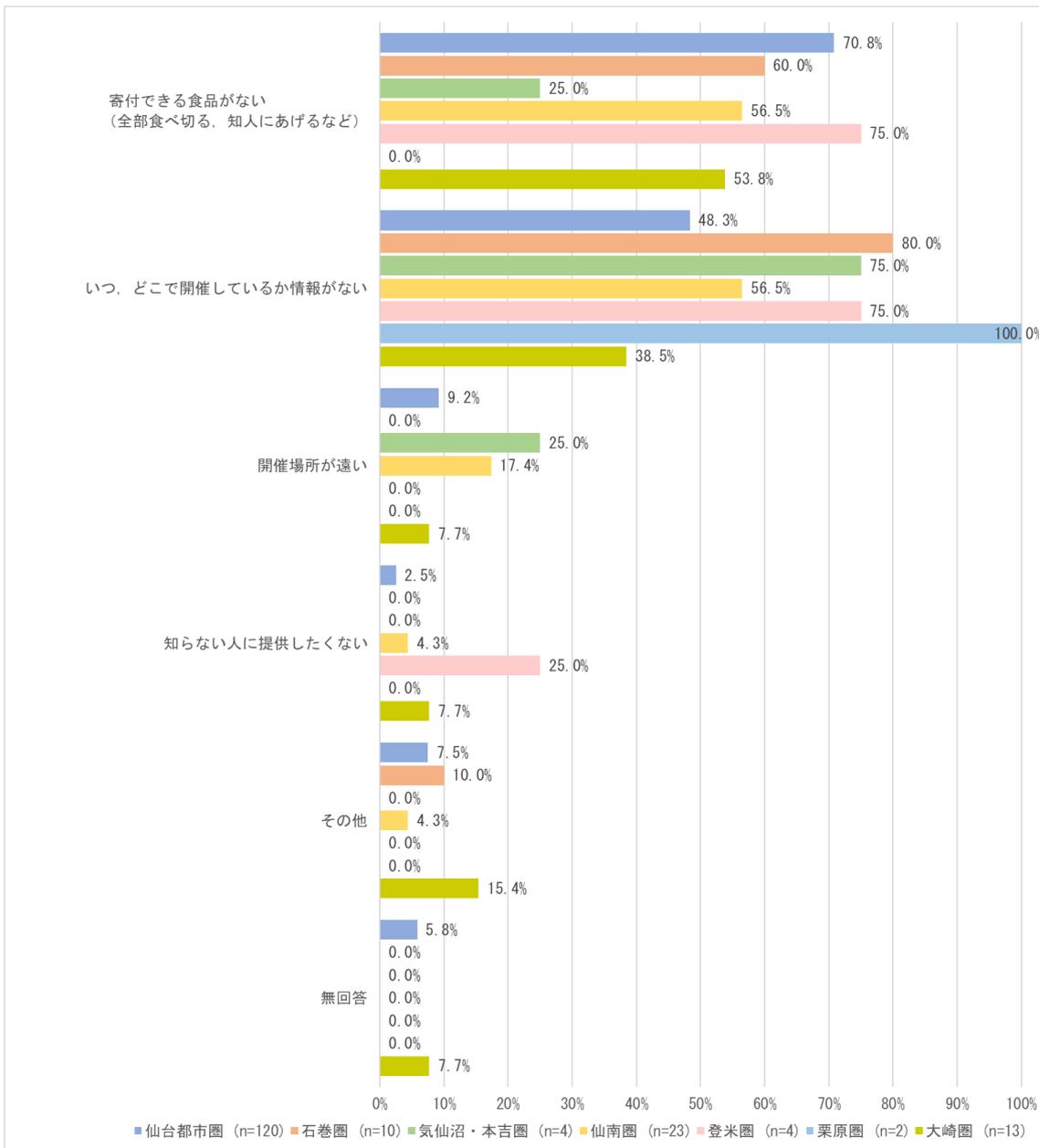
- ・「寄付できる食品がない（全部食べ切る、知人にあげるなど）」と回答した人が 65.6%で最も高く、次いで「いつ、どこで開催しているか情報がない」が 51.9%、「開催場所が遠い」が 9.3%、「知らない人に提供したくない」が 3.3%であった。
- ・年齢別では、「寄付できる食品がない（全部食べ切る、知人にあげるなど）」と回答した人が 20 代では 87.5%で最も高かった。
- ・世帯構成別では、「いつ、どこで開催しているか情報がない」と回答した人は、2 人及び 3 人以上が 1 人暮らしに比べて高かった。



(n=183)



※無回答は除く



<その他>

回答	件数	備考
消費することを前提として購入している	3	30代, 50代, 70歳以上
寄付した食品で事故や中毒の発生が危惧される	3	40代, 60代
条件等が色々ありそうで面倒そうなイメージ	2	30代
寄付条件が分からない	1	70歳以上
災害時の備えとして備蓄食品が必要だと思うから	1	50代
その他	3	-

<問 6> 食品ロス発生の有無に関する意識

あなたは、生活の中で食品ロスを発生させていると思いますか。

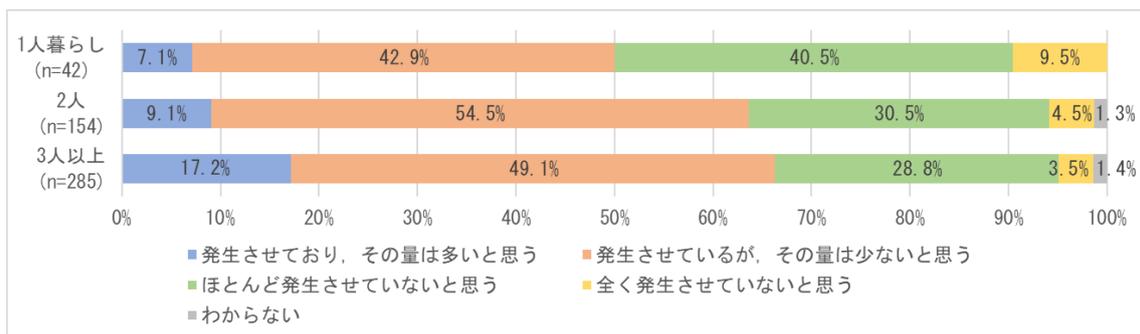
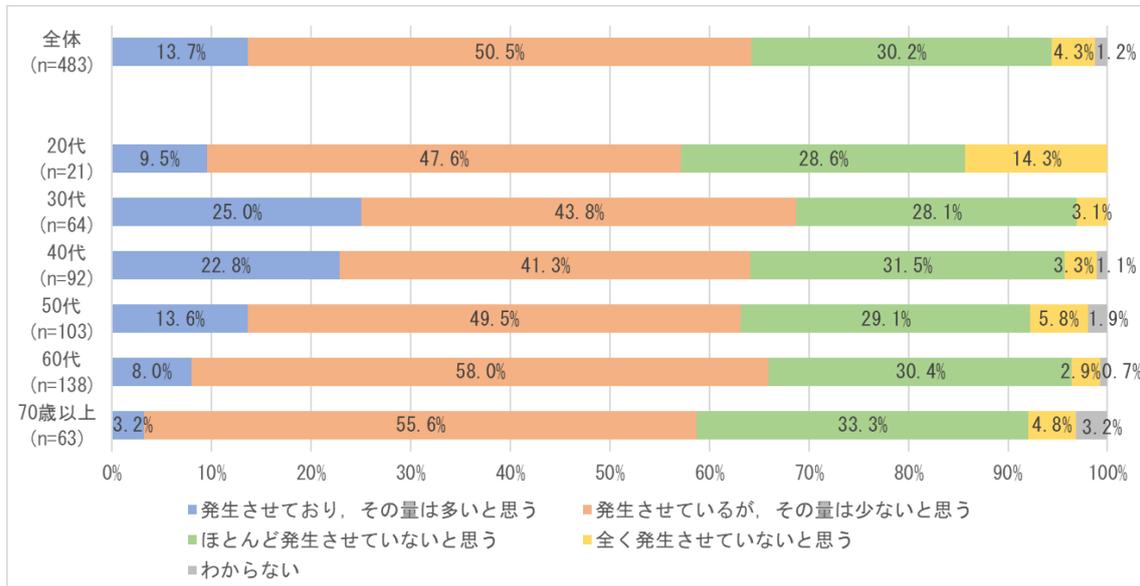
あてはまるもの1つに○を付けてください。

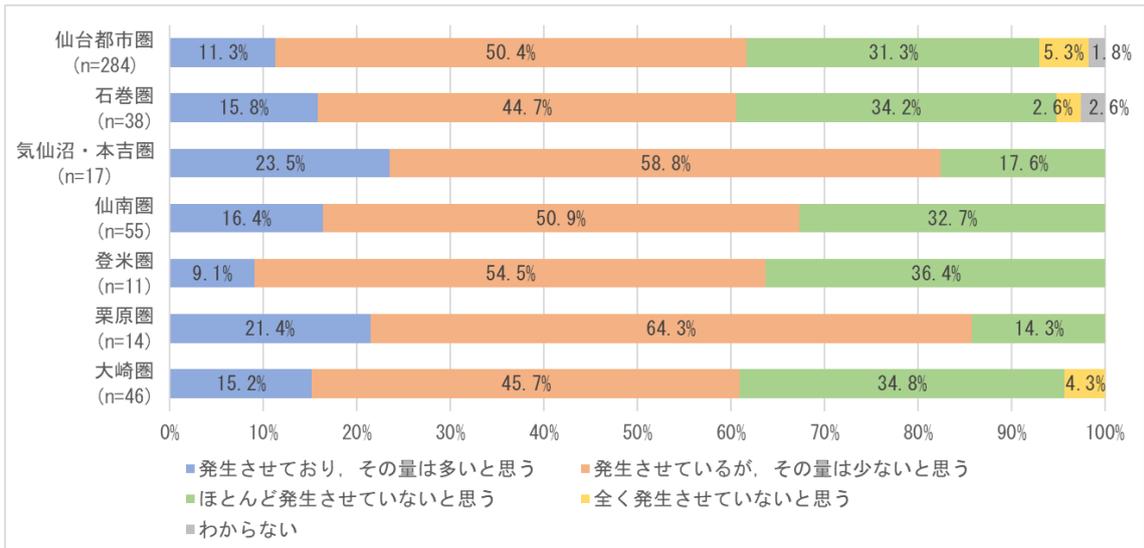
・「発生させているが、その量は少ないと思う」と回答した人が 50.5%で最も高く、次いで「ほとんど発生させていないと思う」が 30.2%、「発生させており、その量は多いと思う」が 13.7%、「全く発生させていないと思う」が 4.3%であった。

・年齢別では、「発生させており、その量は多いと思う」と回答した人は 30代が最も高く、30代以上では年代が上がるにつれてその割合が低くなる傾向であった。

・世帯構成別では、「発生させており、その量は多いと思う」と回答した人が 3人以上で最も高く、「ほとんど発生させていないと思う」と回答した人は 1人暮らしが最も高かった。

※無回答は除く





<問 7> 食品ロスの発生要因

問 6 で、1~3 を選択した方にお伺いします。

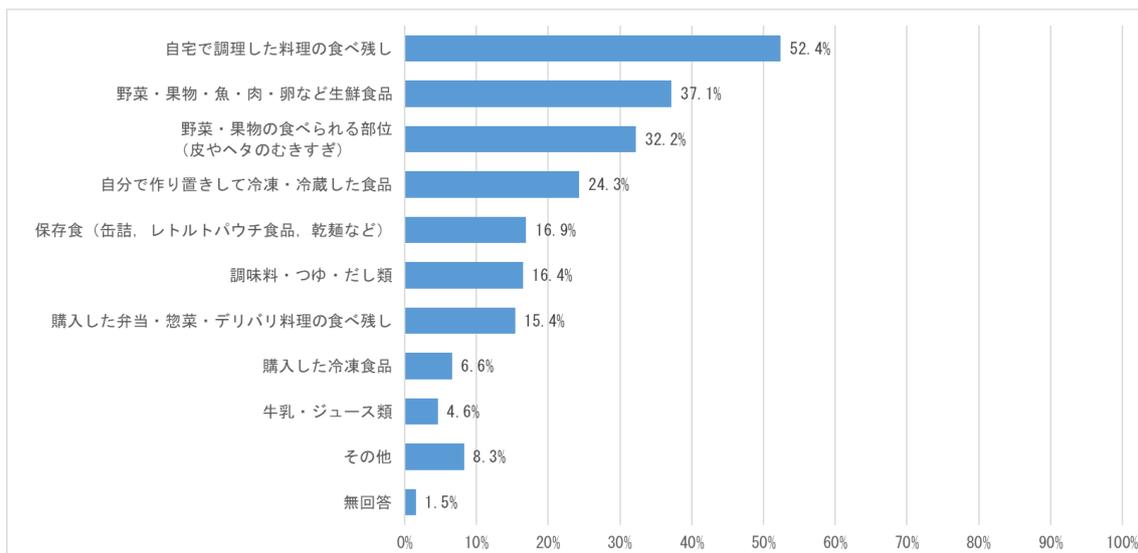
あなたが発生させている食品ロスはどのようなものですか。

あてはまるもの全てに○を付けてください。

・「自宅で調理した料理の食べ残し」と回答した人が 52.4%で最も高く、次いで「野菜・果物・魚・肉・卵など生鮮食品」が 37.1%、「野菜・果物の食べられる部位（皮やヘタのむきすぎ）」が 32.2%、「自分で作り置きして冷凍・冷蔵した食品」が 24.3%であった。

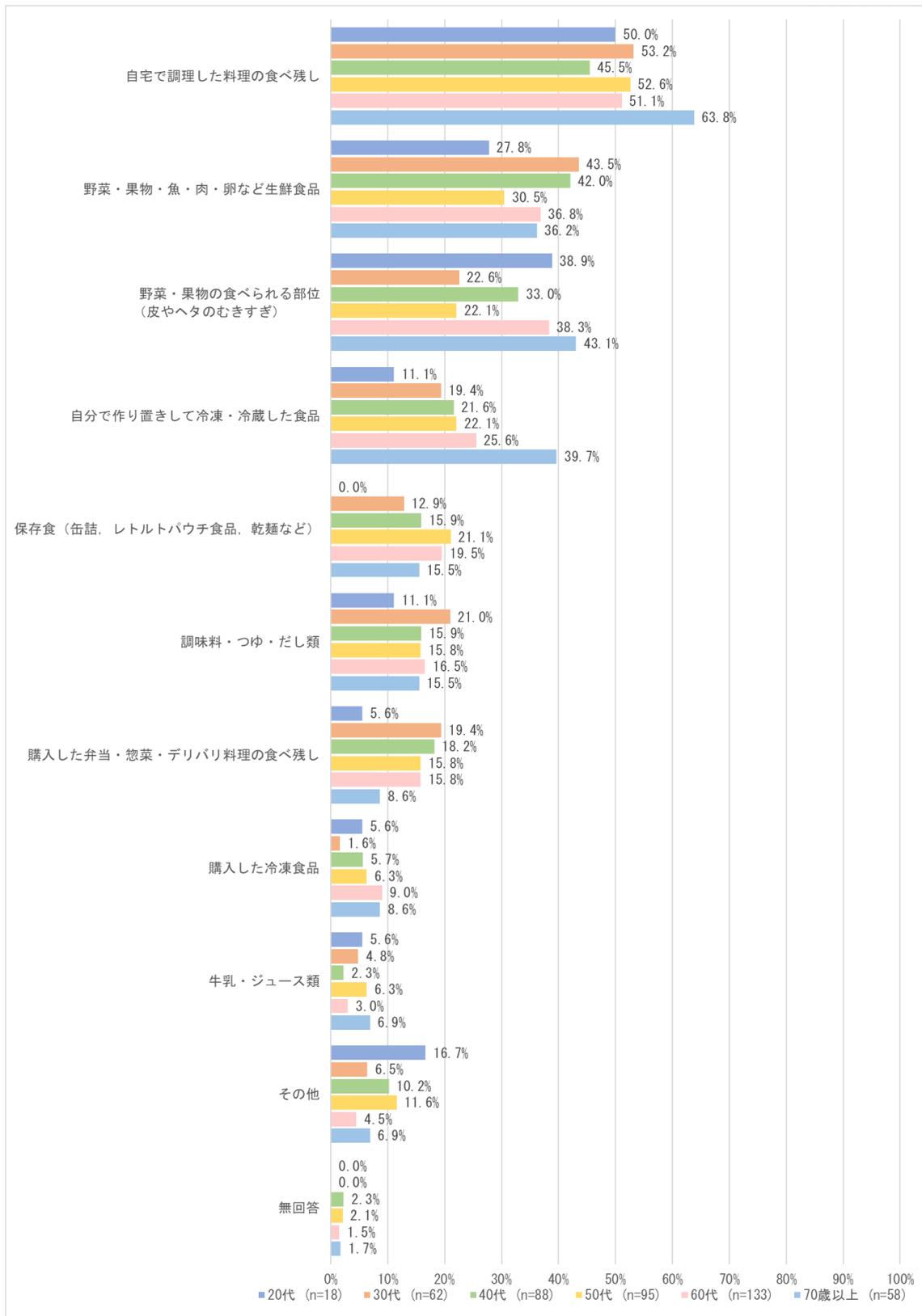
・年齢別では、「野菜・果物・魚・肉・卵など生鮮食品」が 30 代、40 代で高くなっており、「自宅で調理した料理の食べ残し」及び「自分で作り置きして冷凍・冷蔵した食品」と回答した人が 70 歳以上で最も高かった。

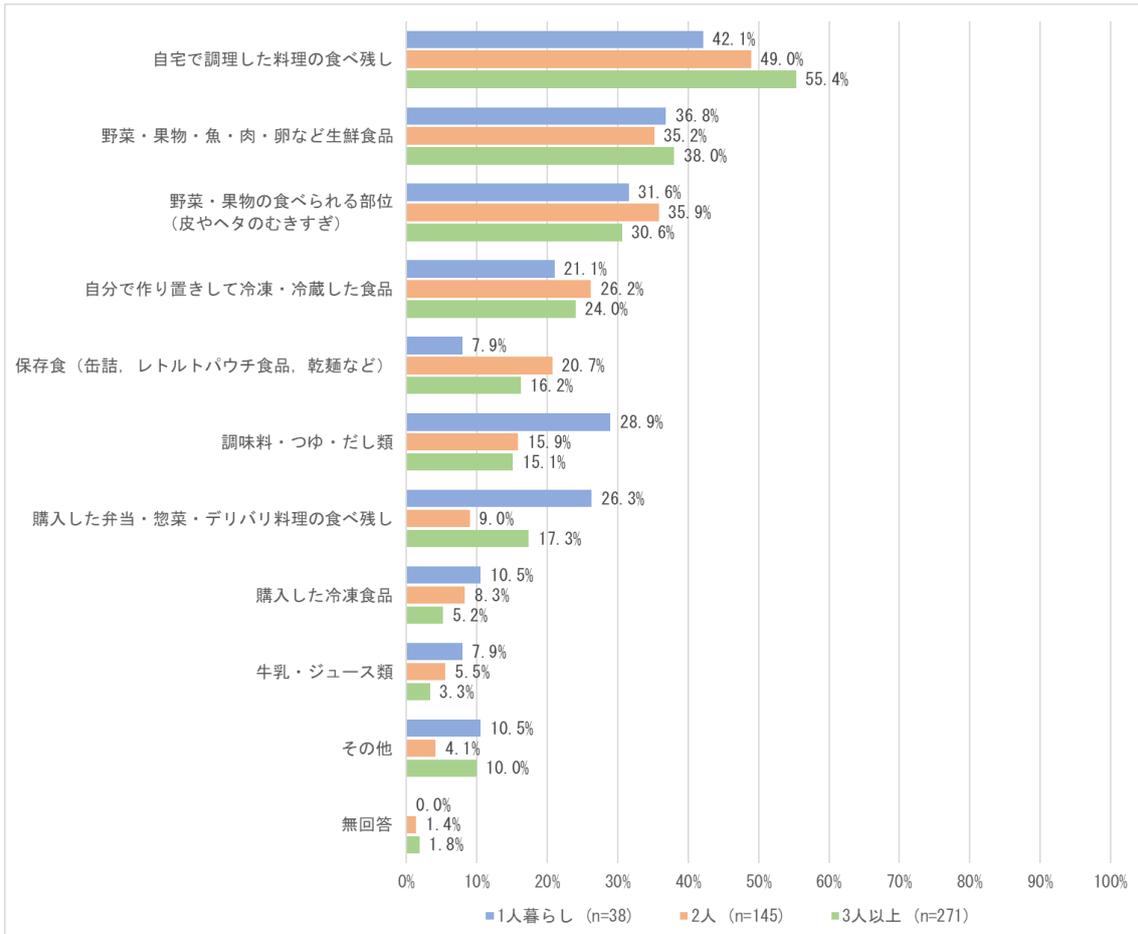
・世帯構成別では、世帯人数が増えるにつれ「自宅で調理した料理の食べ残し」と回答した人の割合が増加傾向であった。

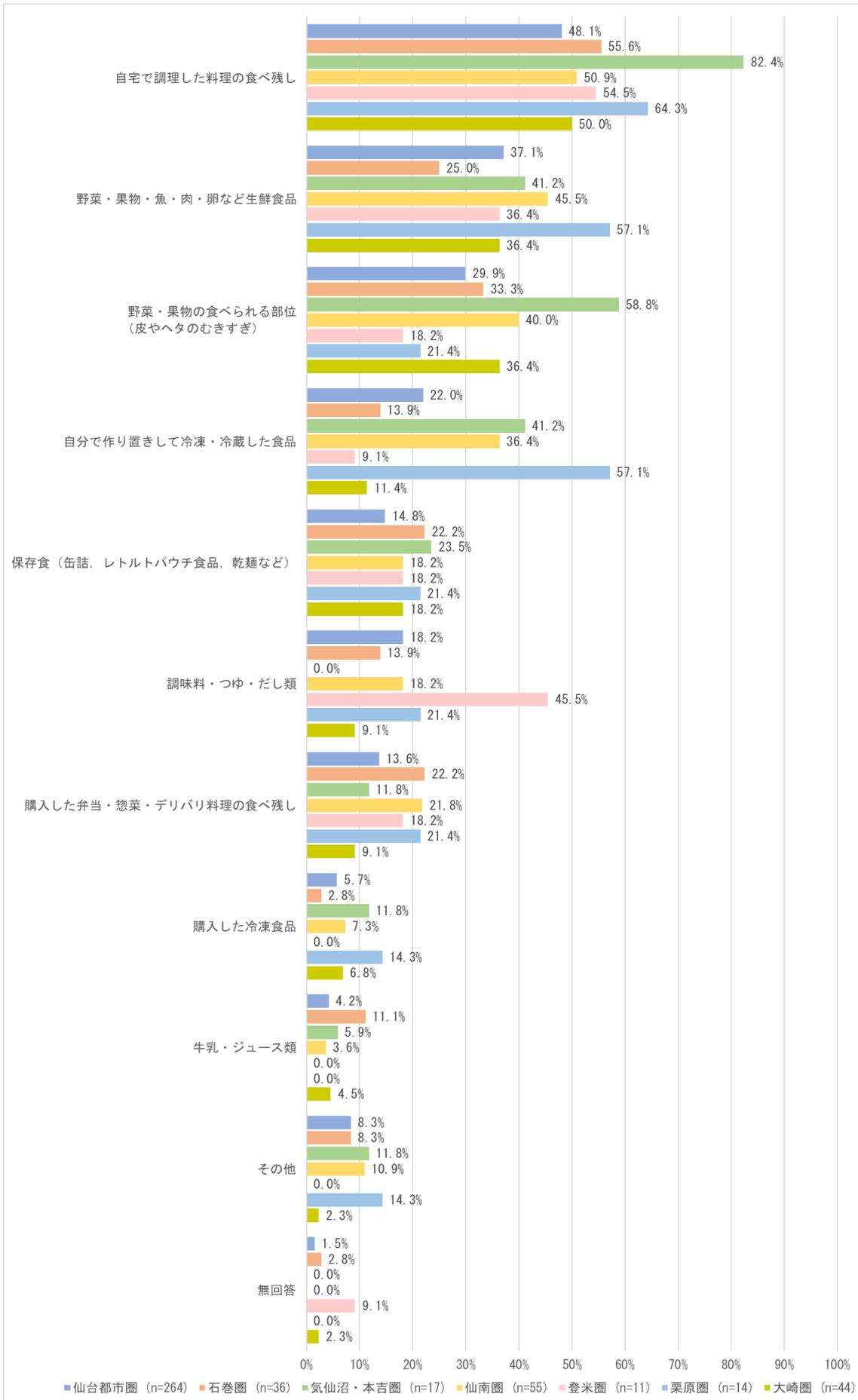


(n=456)

※無回答は除く







<その他>

回答	件数	備考
頂きもので嗜好に合わなかったもの等	10	40代, 50代, 60代
買いすぎ, 作りすぎ等により傷んでしまったもの	6	20代, 40代, 50代
賞味期限, 消費期限切れ	3	30代, 70歳以上
食材の端部分	3	40代, 60代
食べ残しはない	3	30代, 70歳以上
事業で売れ残った食品	3	20代, 40代, 60代
自作の野菜	2	40代, 50代
家族の食べ残し	2	40代, 60代
その他	3	-

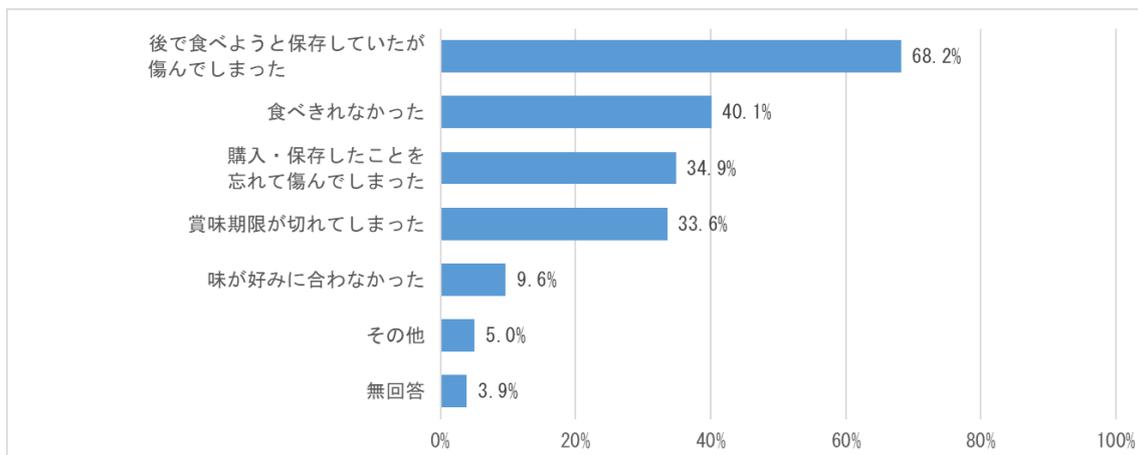
<問 8> 食品ロスの発生理由

問 6 で、1~3 を選択した方にお伺いします。

食品ロスが発生した理由はどのようなものですか。

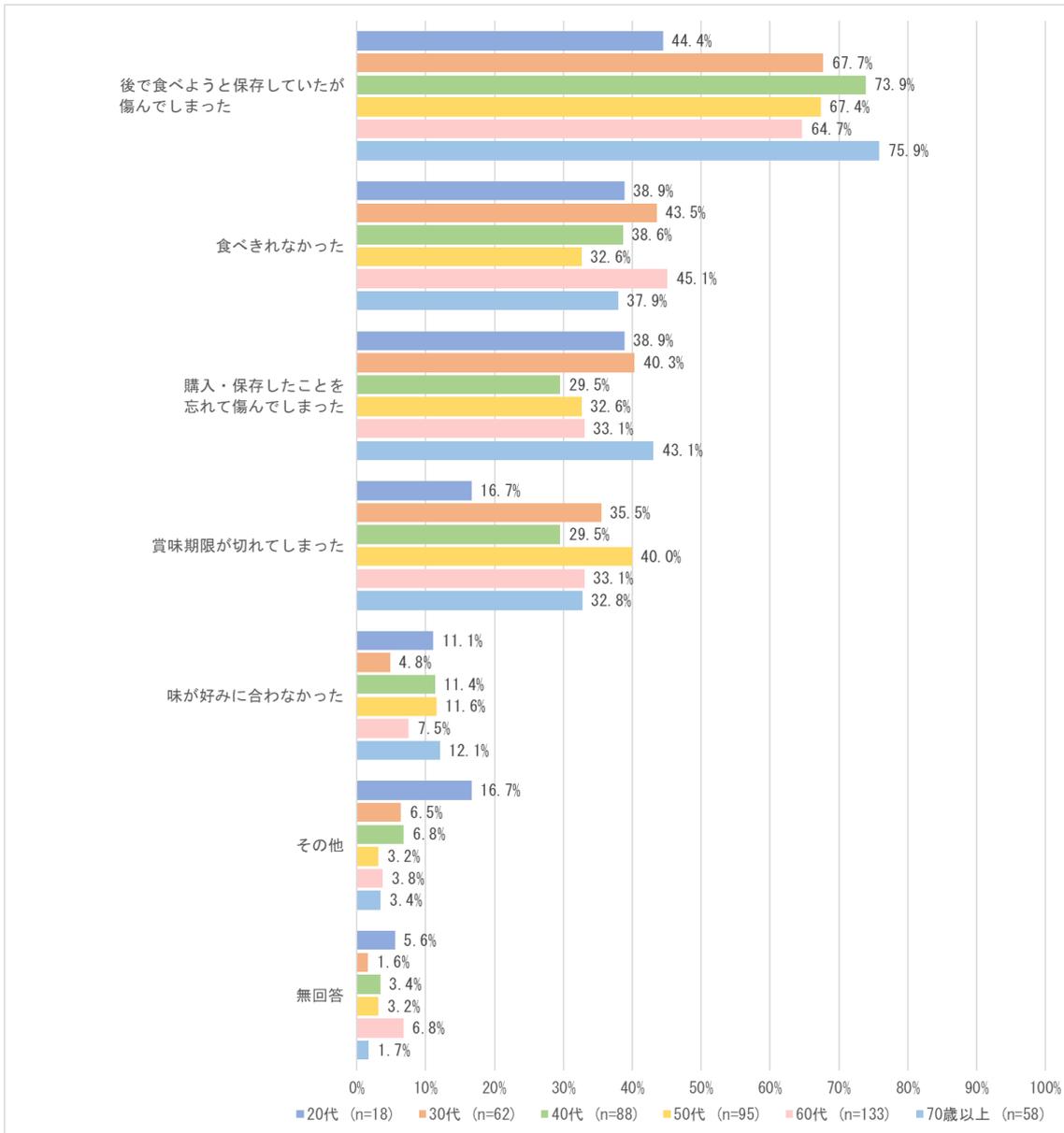
あてはまるもの全てに○を付けてください。

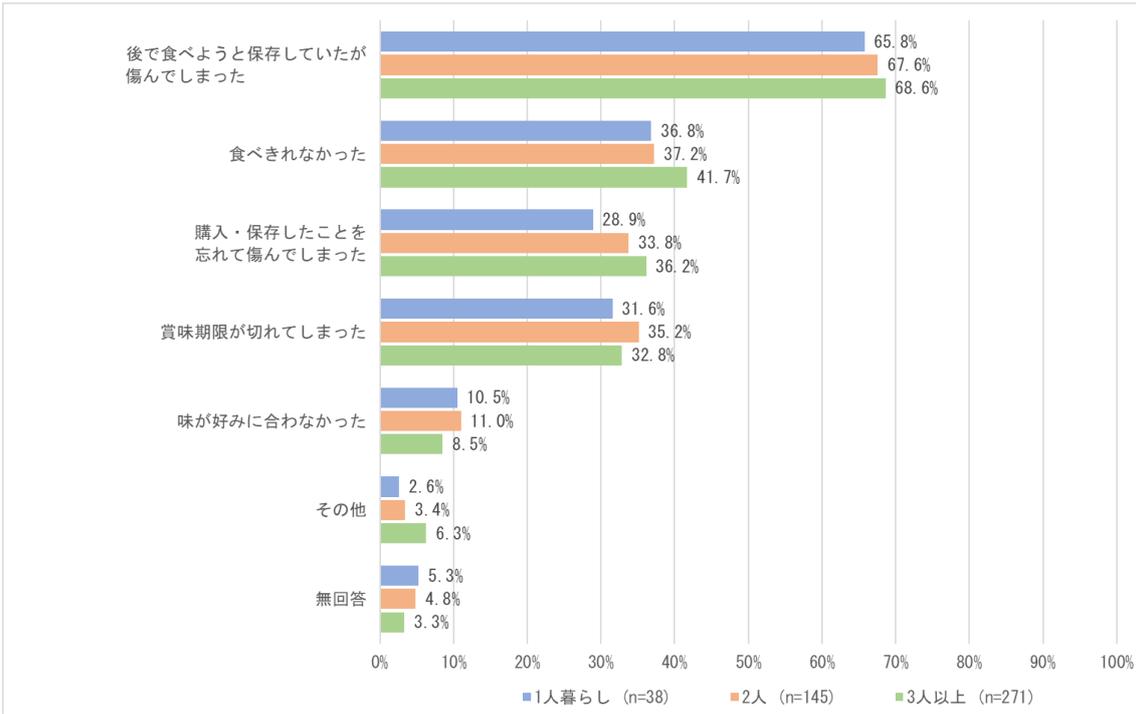
・「後で食べようと保存していたが傷んでしまった」が 68.2%で最も高く、次いで「食べきれなかった」が 40.1%、「購入・保存したことを忘れて傷んでしまった」が 34.9%、「賞味期限が切れてしまった」が 33.6%であった。

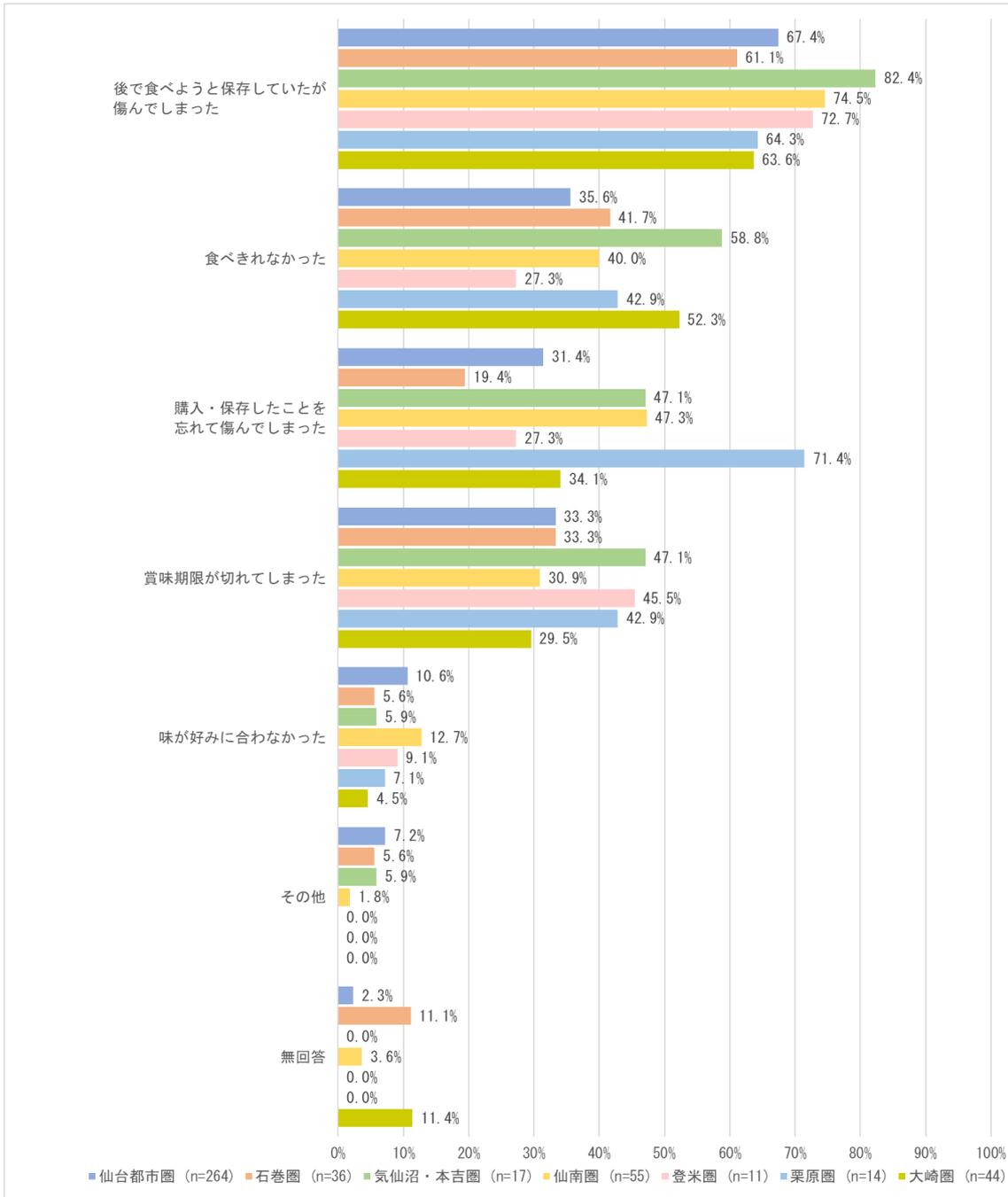


(n=456)

※無回答は除く







<その他>

回答	件数	備考
野菜・果物の皮の廃棄	5	30代, 40代, 50代, 60代
野菜の皮のむきすぎ	3	20代, 40代, 60代
頂きもの等の好みでないもの	3	30代, 40代
野菜等の作りすぎ	2	50代, 60代
事業での売れ残り	2	20代, 40代
保存していることを忘れる	1	70歳以上
子どもの食べムラ	1	30代
その他	5	-

<問 9>新型コロナウイルスによる食生活の変化

新型コロナウイルスまん延の前後で、あなたの食生活に変化がありましたか。

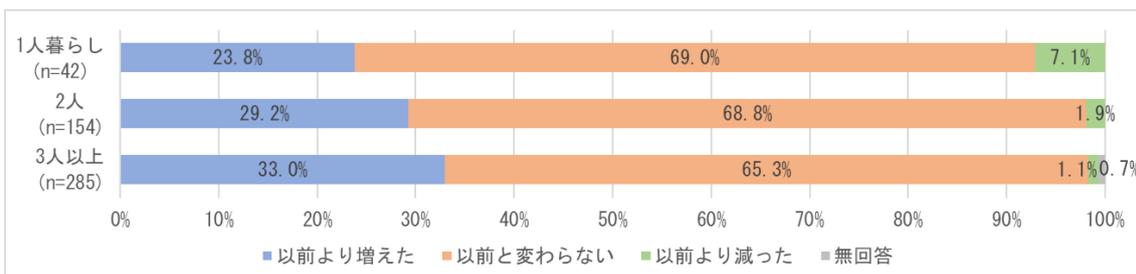
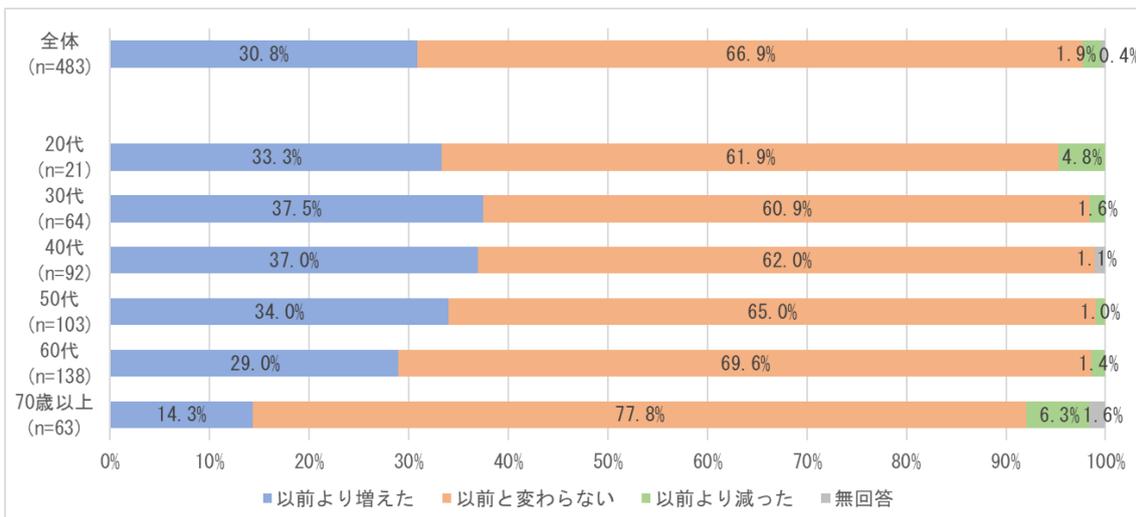
家庭における調理、中食（※）、外食の状況及び食品ロスの量を教えてください。

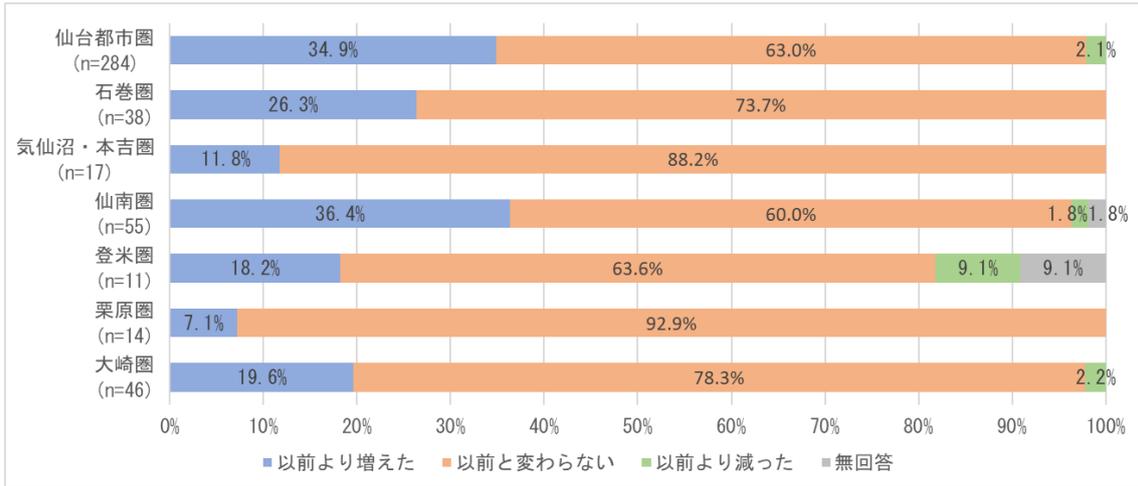
※ 中食（なかしょく）：弁当購入やデリバリーサービスの利用など、調理済の食品を購入して家庭で食べることをいいます。

<家庭で調理をする機会>

- ・「以前と変わらない」と回答した人が 66.9%で最も高く、次いで「以前より増えた」が 30.8%、「以前より減った」が 1.9%であった。
- ・年齢別では、「以前より増えた」と回答した人が 30～40 代が多く、40 代以上では年齢が高くなるにつれ低くなる傾向が見られた。
- ・世帯構成別では、世帯人数が増えるにつれ「以前より増えた」と回答した人の割合が高くなった。

※無回答は除く

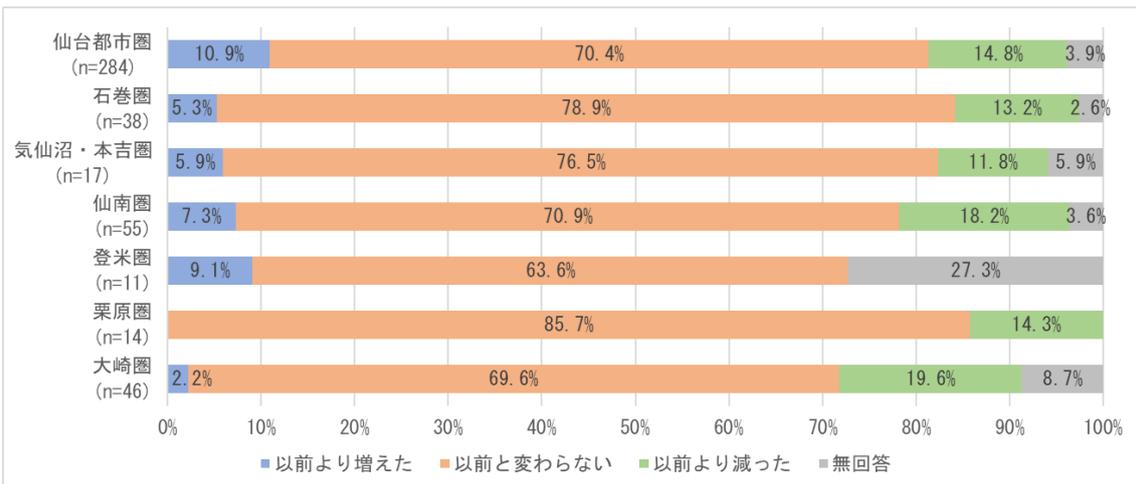
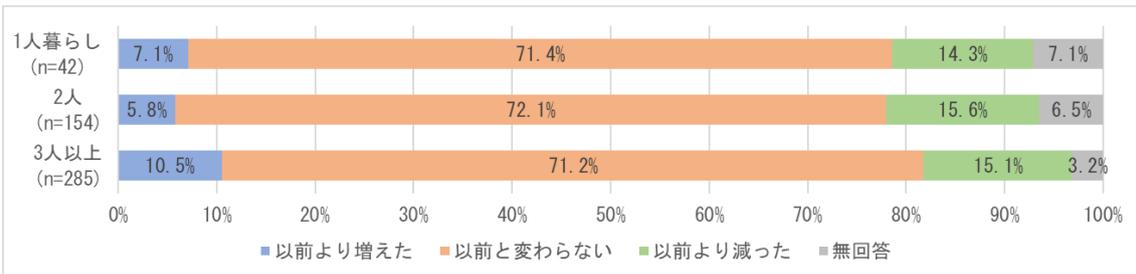
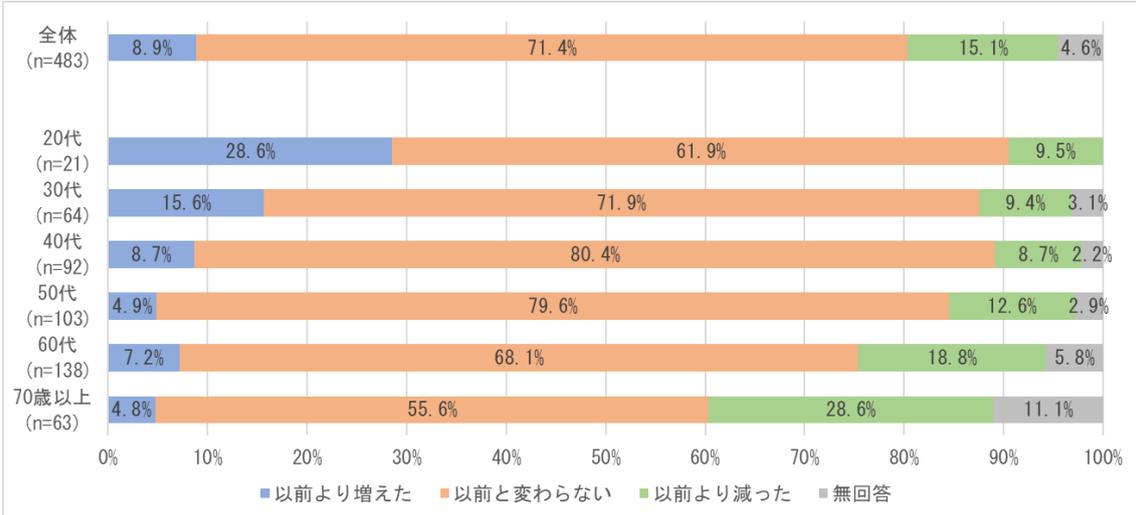




<出前・デリバリーサービスを利用する機会>

- ・「以前と変わらない」と回答した人が71.4%で最も高く、次いで「以前より減った」が15.1%、「以前より増えた」が8.9%であった。
- ・年齢別では、「以前より増えた」と回答した人が20代では28.6%で最も高く、逆に「以前より減った」と回答した人が70歳以上では28.6%で最も高かった。

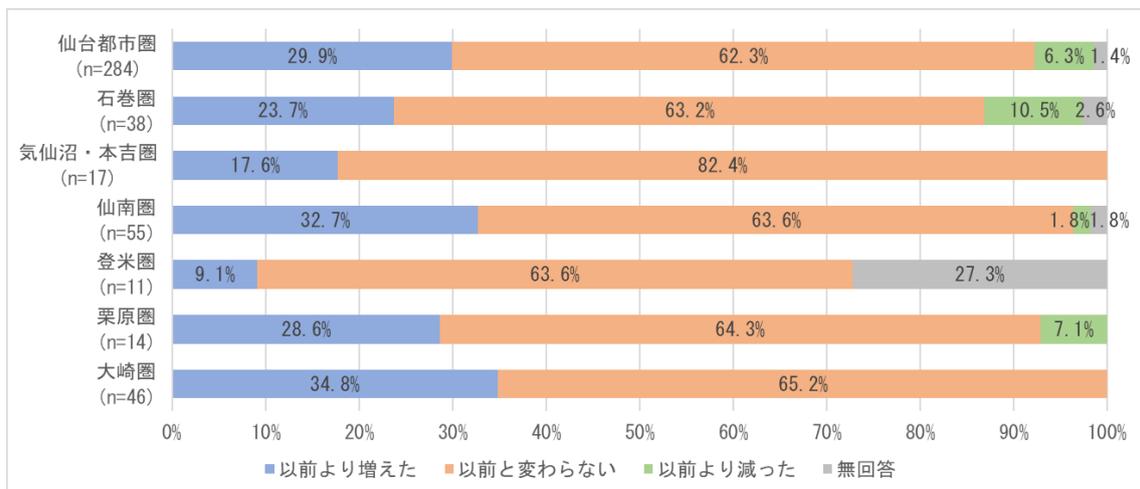
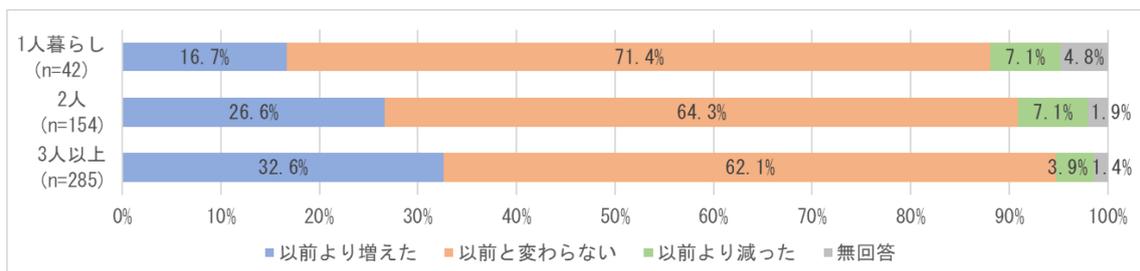
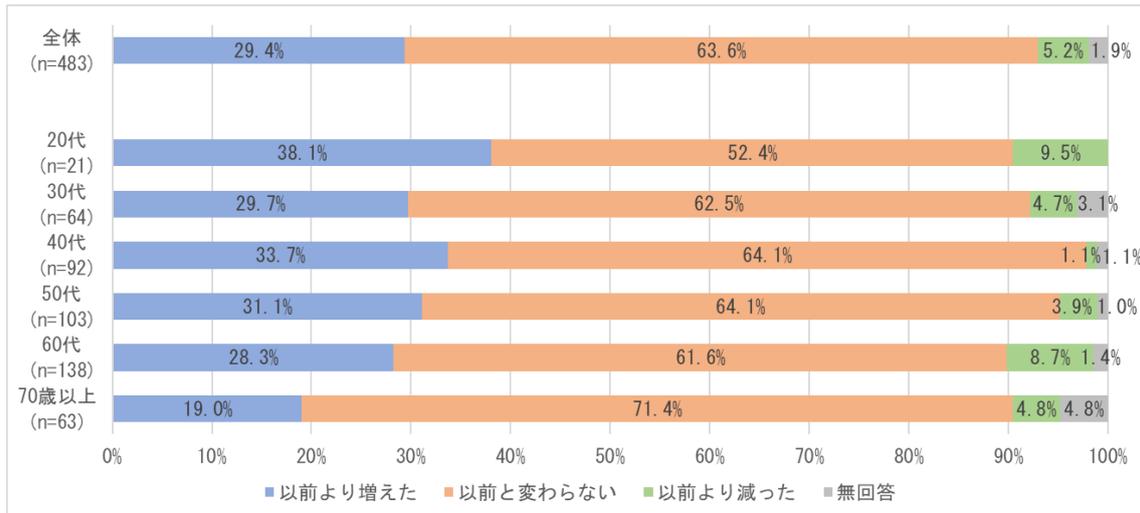
※無回答は除く



<惣菜・弁当（パン・おにぎりを含む）を購入して家庭で食べる機会>

- ・「以前と変わらない」と回答した人が 63.6%で最も高く、次いで「以前より増えた」が 29.4%、「以前より減った」が 5.2%であった。
- ・年齢別では、「以前より増えた」と回答した人が 20代では 38.1%で最も高く、70歳以上では 19.0%で最も低かった。
- ・世帯構成別では、世帯人数が増えるにつれ「以前より増えた」と回答した人の割合が高くなった。

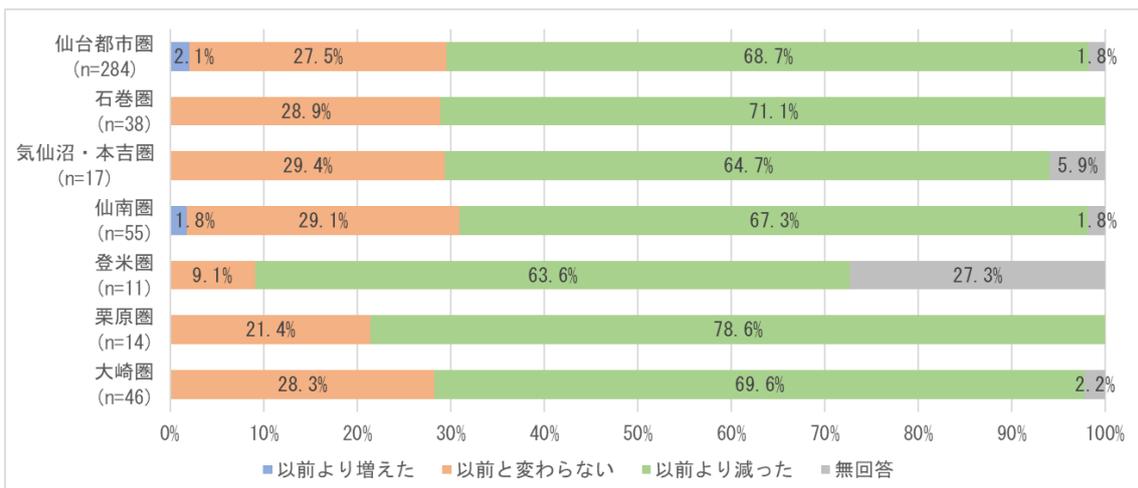
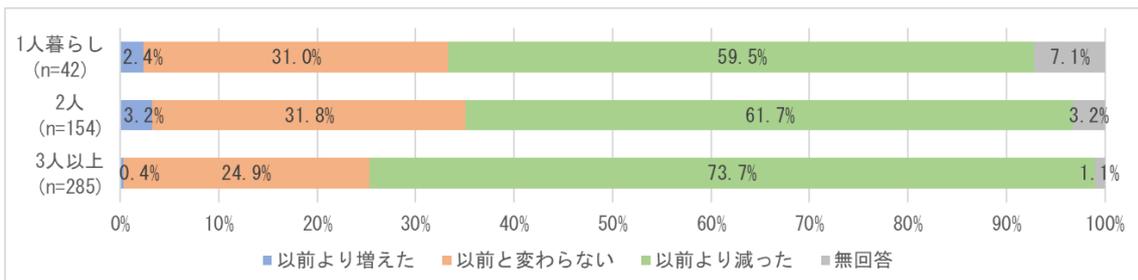
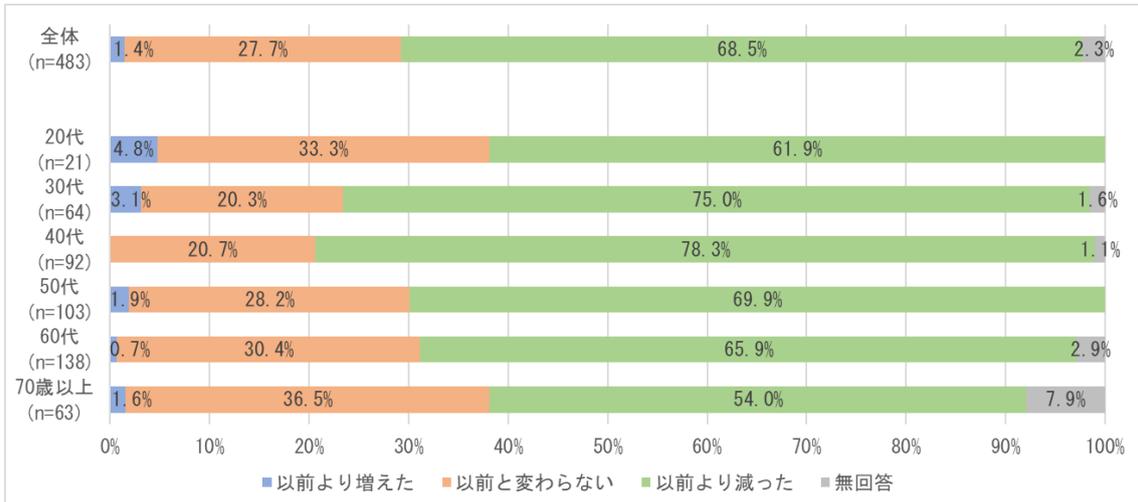
※無回答は除く



< 外食する機会 >

- ・「以前より減った」と回答した人が 68.5%で最も高く、次いで「以前と変わらない」が 27.7%、「以前より増えた」が 1.4%であった。
- ・年齢別では、「以前より減った」と回答した人がすべての年代で過半数以上であった。
- ・世帯構成別では、「以前より減った」と回答した人が3人以上では 73.7%で最も高かった。

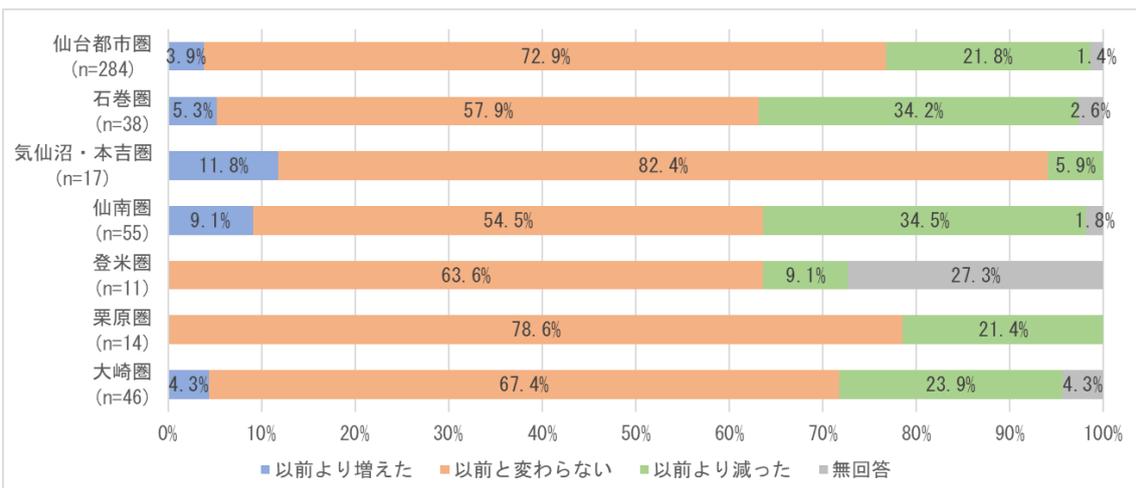
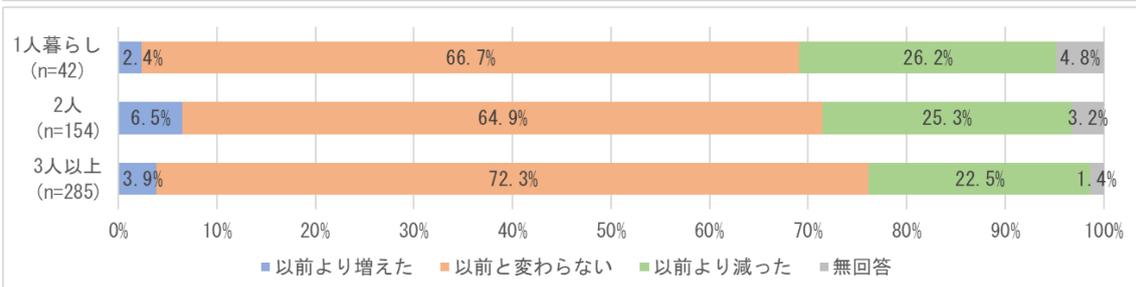
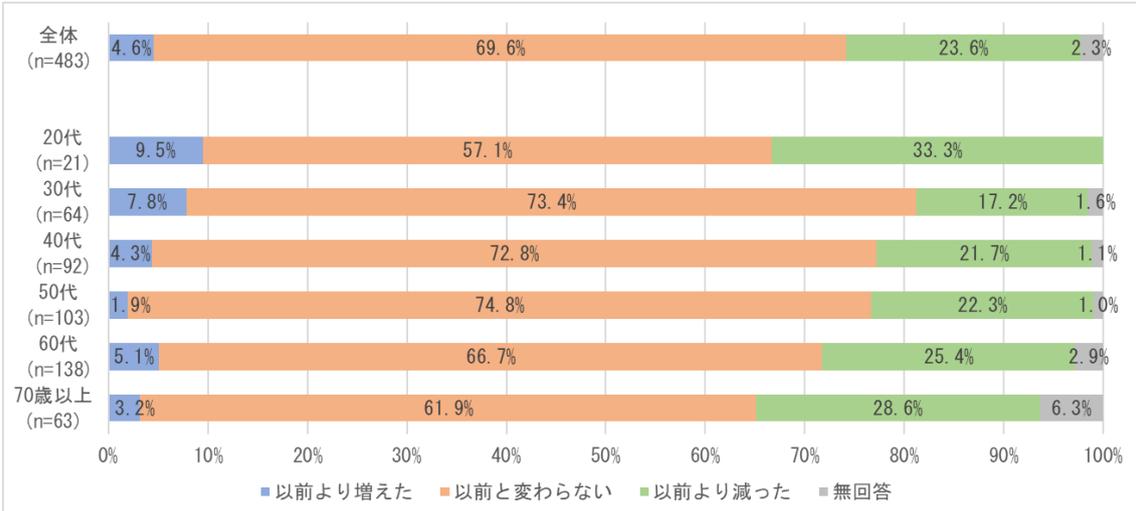
※無回答は除く



<食品ロスの量>

- ・「以前と変わらない」と回答した人が 69.6%で最も高く、次いで「以前より減った」が 23.6%、「以前より増えた」が 4.6%であった。
- ・年齢別では、「以前より減った」と回答した人が 20代では 33.3%で最も高く、30代では 17.2%で最も低く、30代以上では年齢が高くなるにつれて高くなる傾向が見られた。

※無回答は除く



<問 10> 食品ロスを減らすための取組

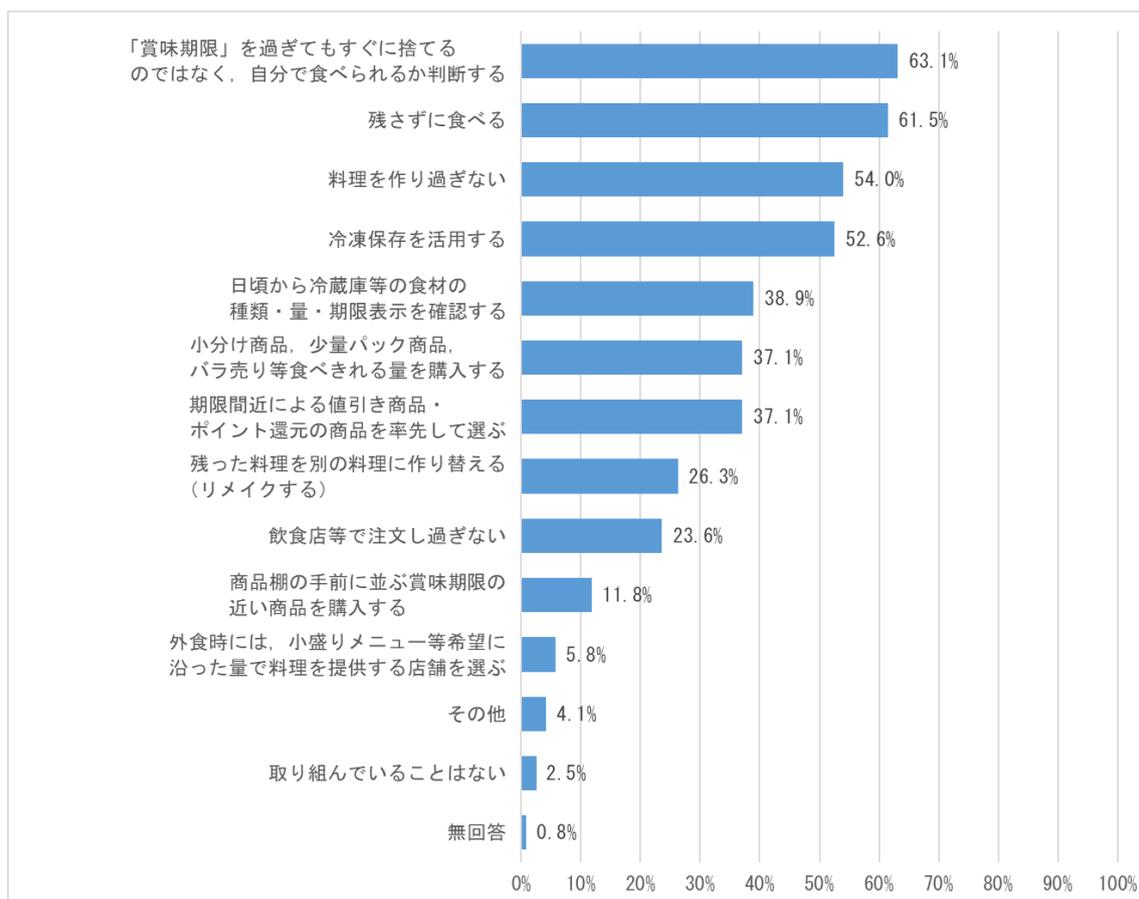
あなたは食品ロスを減らすために取り組んでいることはありますか。

あてはまるもの全てに○を付けてください。

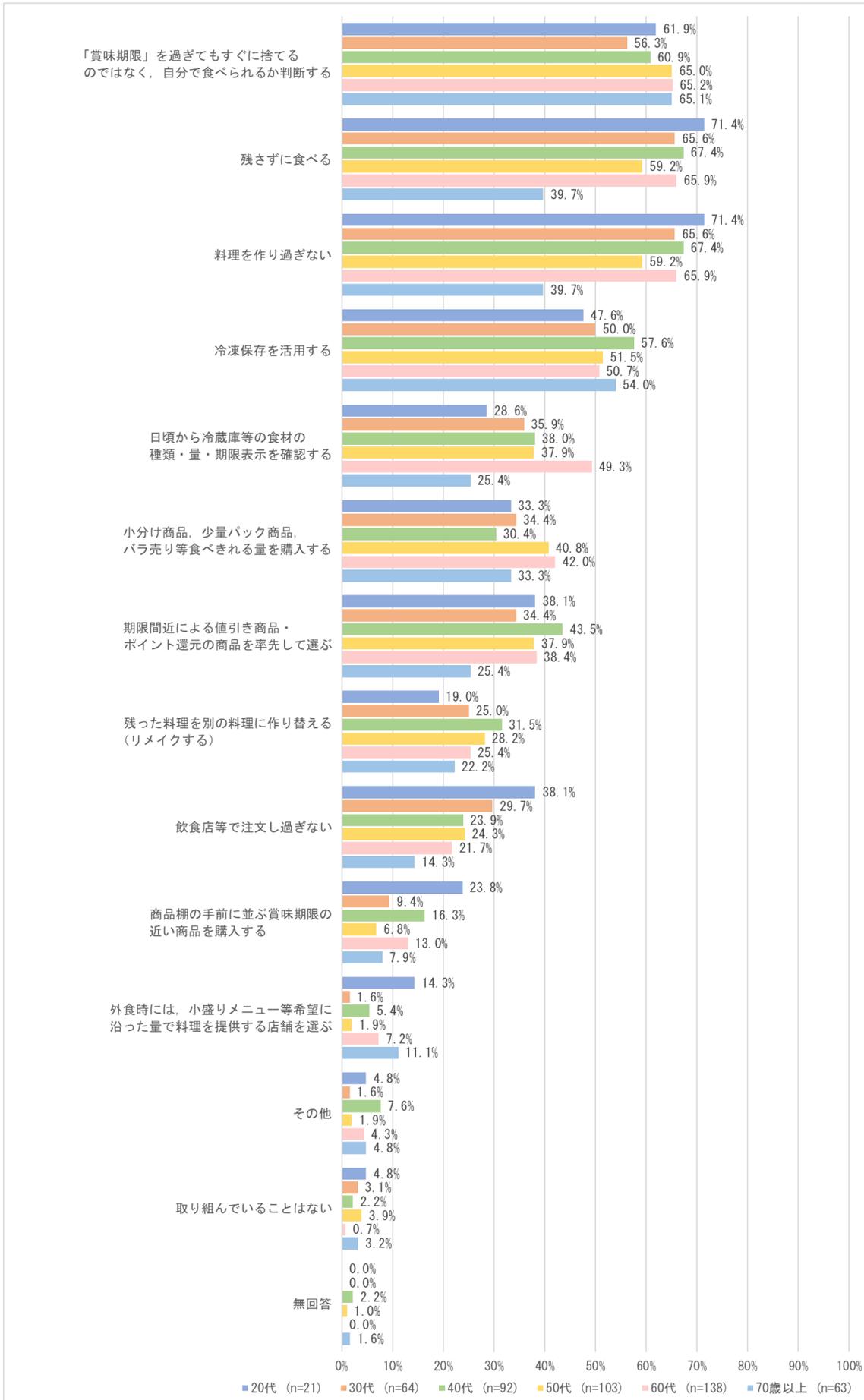
・『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」と回答した人が 63.1%で最も高く、次いで「残さずに食べる」が 61.5%、「料理を作り過ぎない」が 54.0%、「冷凍保存を活用する」が 52.6%、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」が 38.9%、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べられる量を購入する」及び「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」が 37.1%であった。

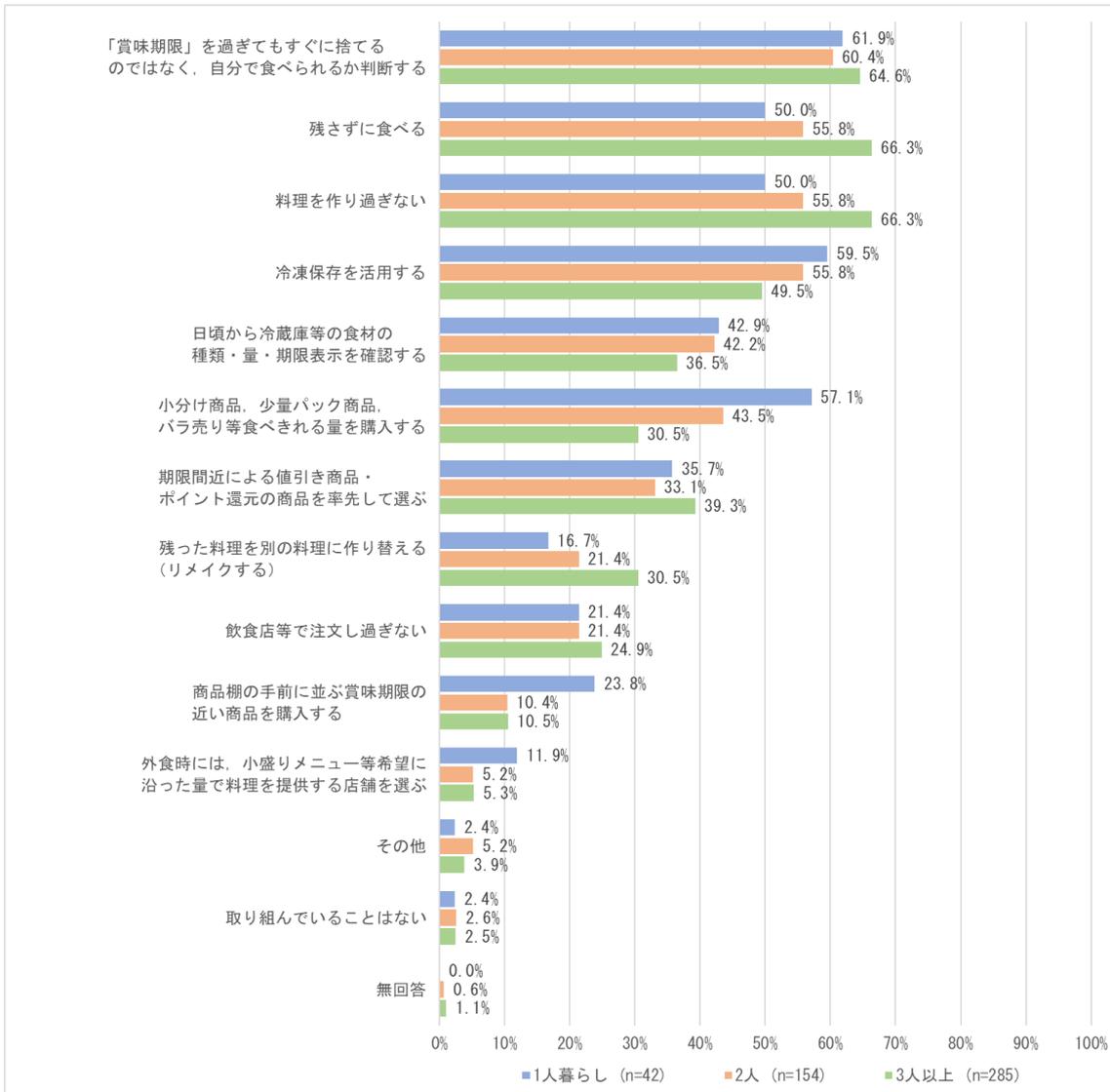
・年齢別では、「残さずに食べる」及び「料理を作り過ぎない」と回答した人が、70歳以上で最も低かった。

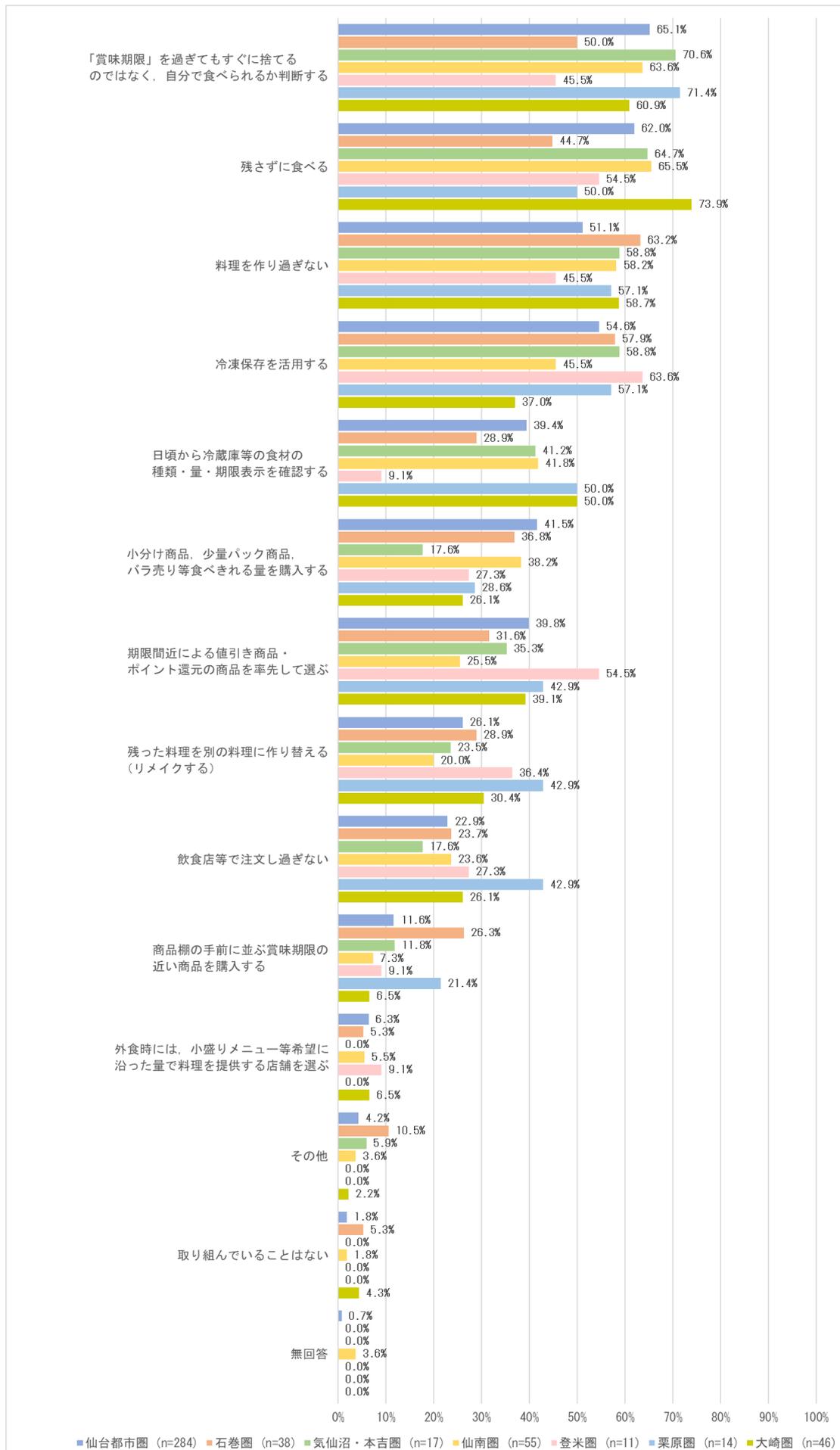
・世帯構成別では、「残さずに食べる」及び「料理を作り過ぎない」と回答した人が3人以上で最も高かった。



(n=483)







<その他>

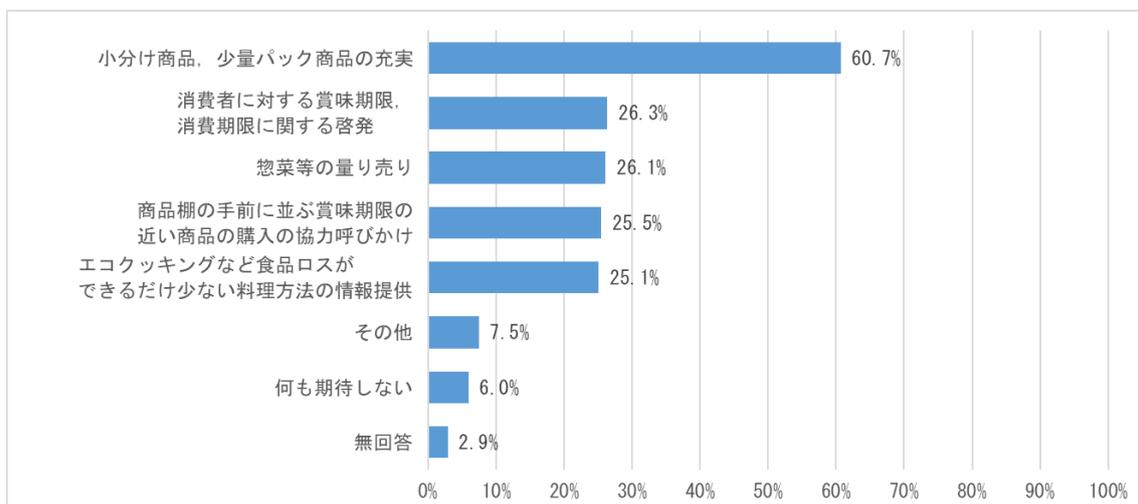
回答	件数	備考
計画的な食材購入	8	20代, 40代, 50代, 60代
食材の有効活用・料理の工夫	2	40代, 60代
肉など小分けにして冷凍する	2	60代
おすそわけをする	2	40代, 70歳以上
食品管理のため日付を記入する	2	30代, 40代
フードバンクへの寄付	1	50代
外食時ごはんの量を調整する	1	70歳以上
その他	2	-

＜問 11＞食品ロス削減のために食品小売業に期待すること

食品ロスを減らすため、顧客の立場として小売店に期待することはありますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

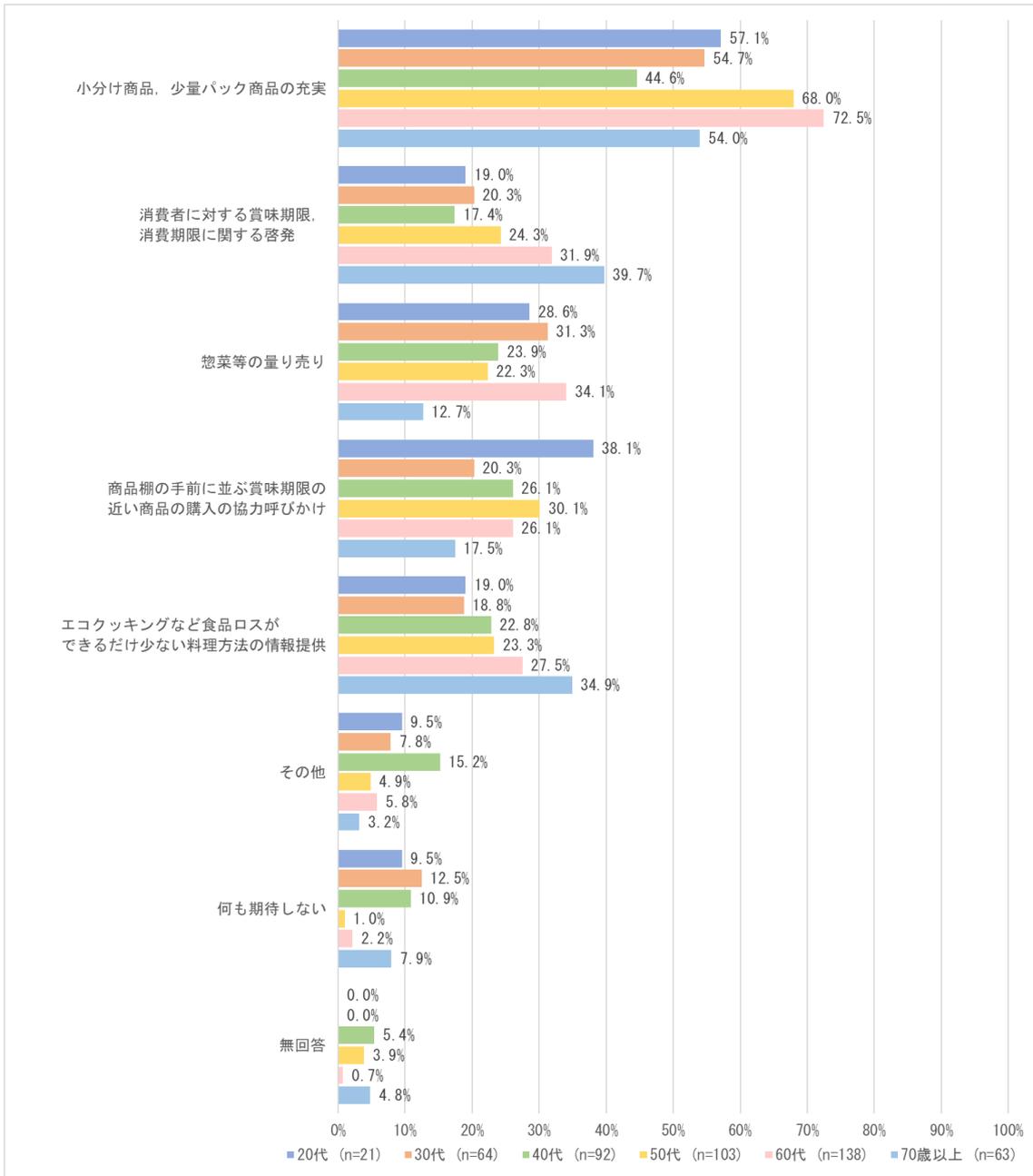
・「小分け商品、少量パック商品の充実」と回答した人が 60.7%で最も高く、次いで「消費者に対する賞味期限、消費期限に関する啓発」が 26.3%、「惣菜等の量り売り」が 26.1%、「商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品の購入の協力呼びかけ」が 25.5%、「エコクッキングなど食品ロスができるだけ少ない料理方法の情報提供」が 25.1%であった。

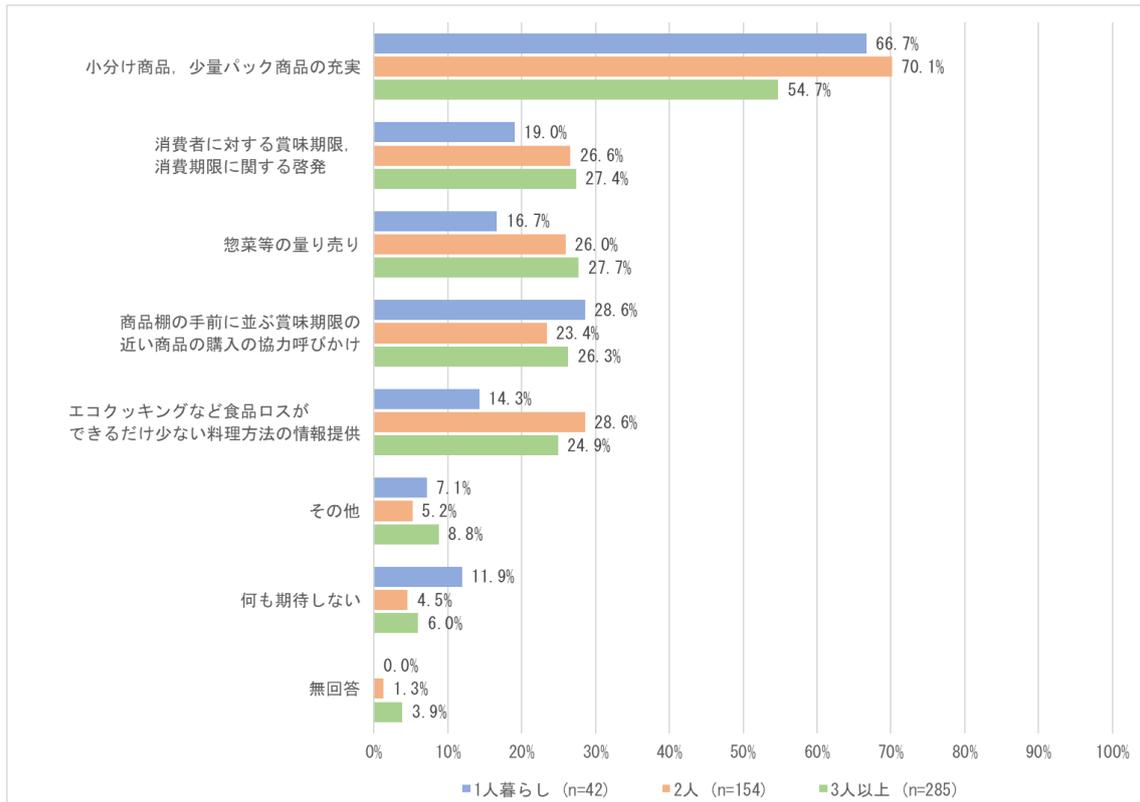
・年齢別では、「小分け商品、少量パック商品の充実」及び「惣菜等の量り売り」と回答した人が、60代で最も高かった。また、「消費者に対する賞味期限、消費期限に関する啓発」及び「エコクッキングなど食品ロスができるだけ少ない料理方法の情報提供」と回答した人は、概ね年代が高くなるにつれて増加する傾向であった。

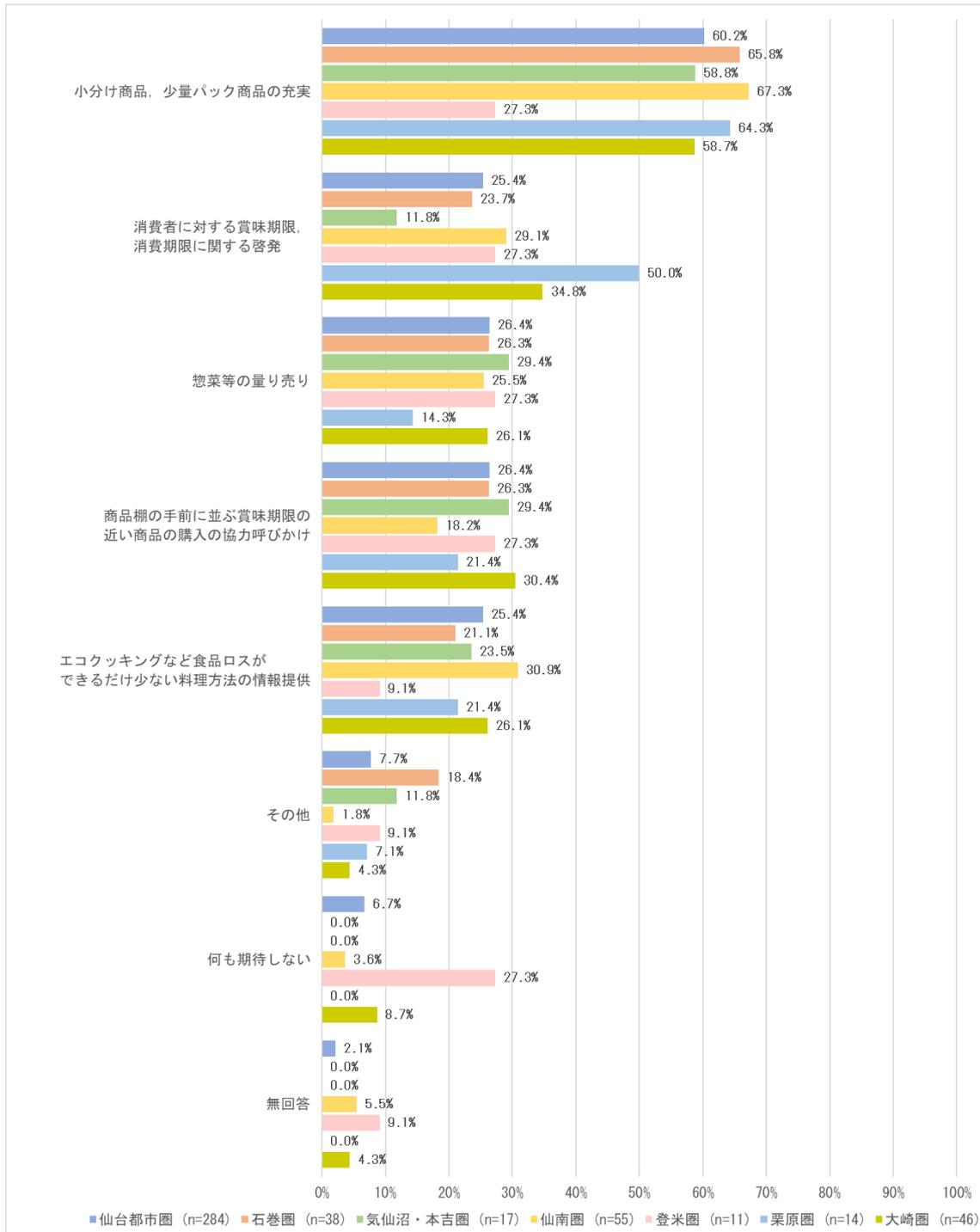


(n=483)

※無回答は除く







<その他>

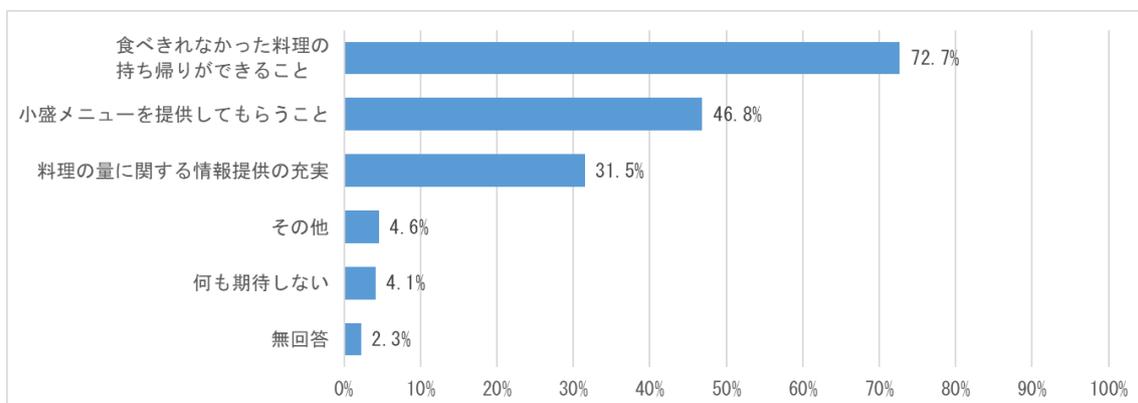
回答	件数	備考
賞味期限間近のものの値引き販売	18	20代, 30代, 40代, 50代, 60代, 70歳以上
計画的な仕入れ・販売	4	40代, 60代, 70歳以上
値引き時間の拡大	2	40代
料理レシピの提供	2	20代, 50代
商品の量の削減	2	40代
生鮮食品の量り売り	1	40代
食品ロス削減の啓蒙	1	50代
地球温暖化に影響が少ない容器	1	30代
その他	5	-

＜問 12＞食品ロス削減のために外食産業に期待すること

食品ロスを減らすため、顧客の立場として飲食店に期待することはありますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

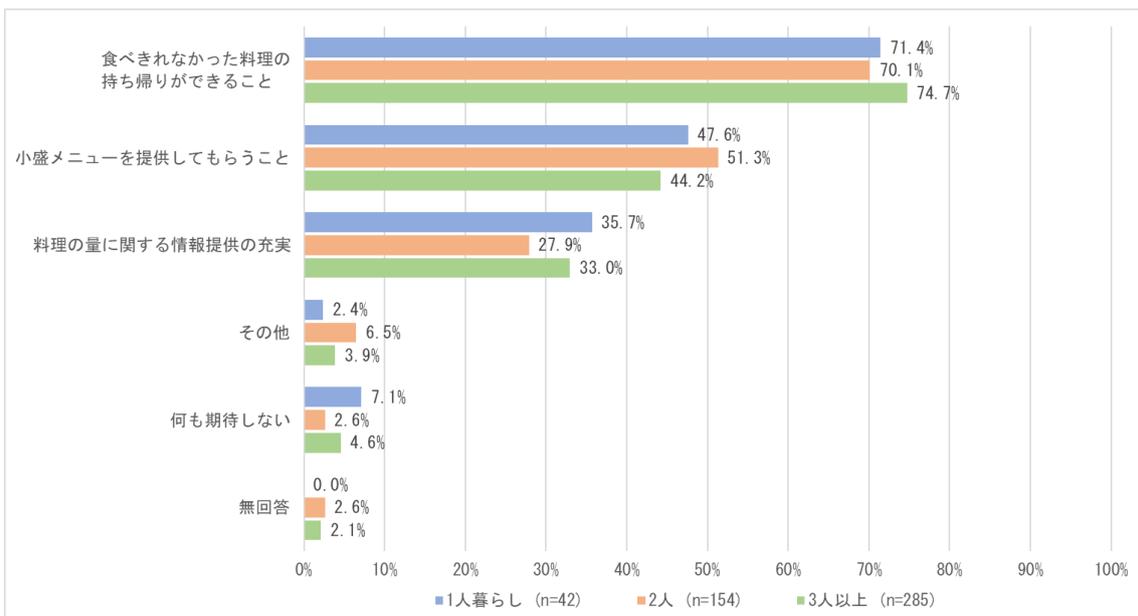
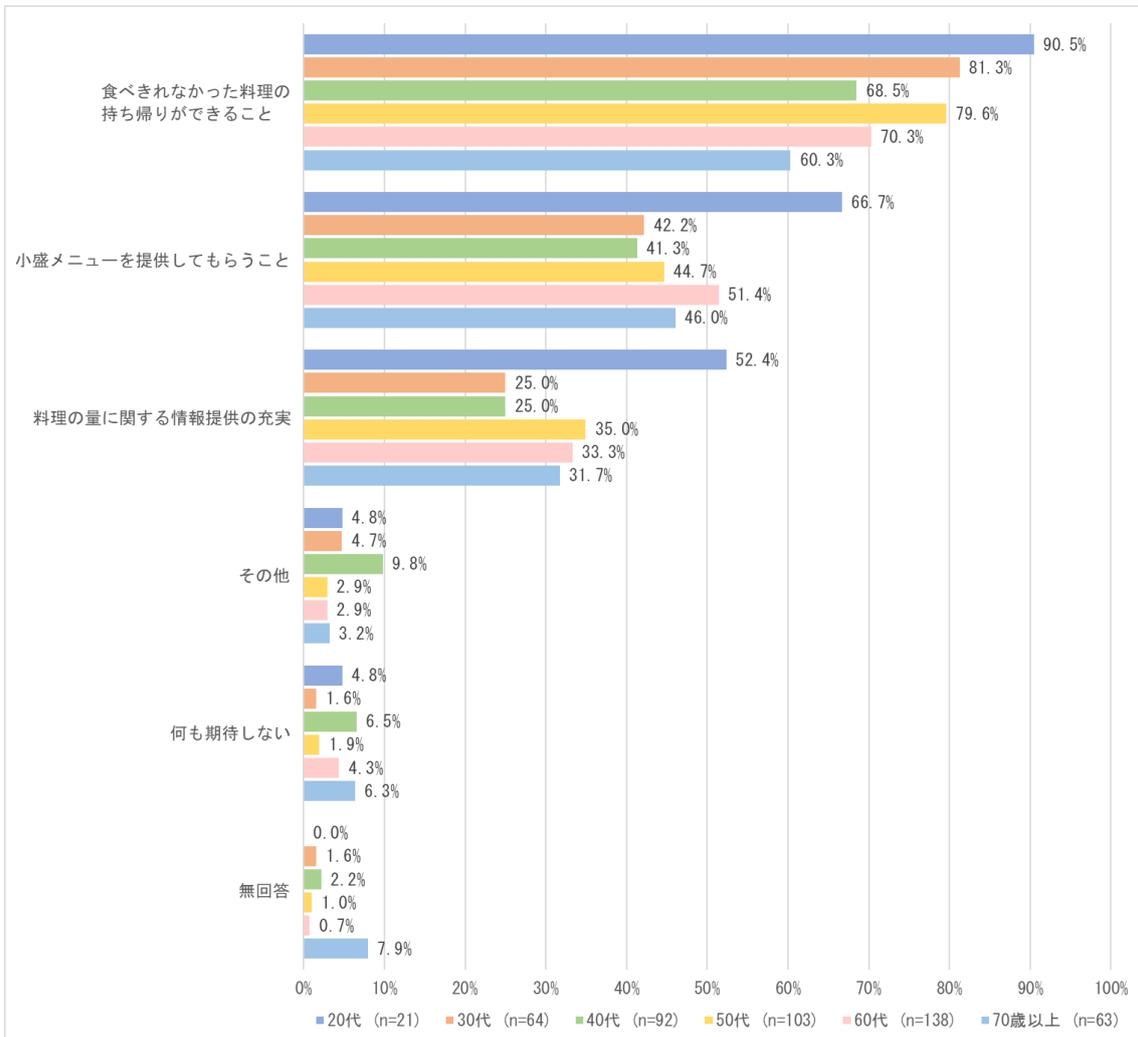
・「食べきれなかった料理の持ち帰りができること」と回答した人が 72.7%で最も高く、次いで「小盛メニューを提供してもらうこと」が 46.8%、「料理の量に関する情報提供の充実」が 31.5%であった。

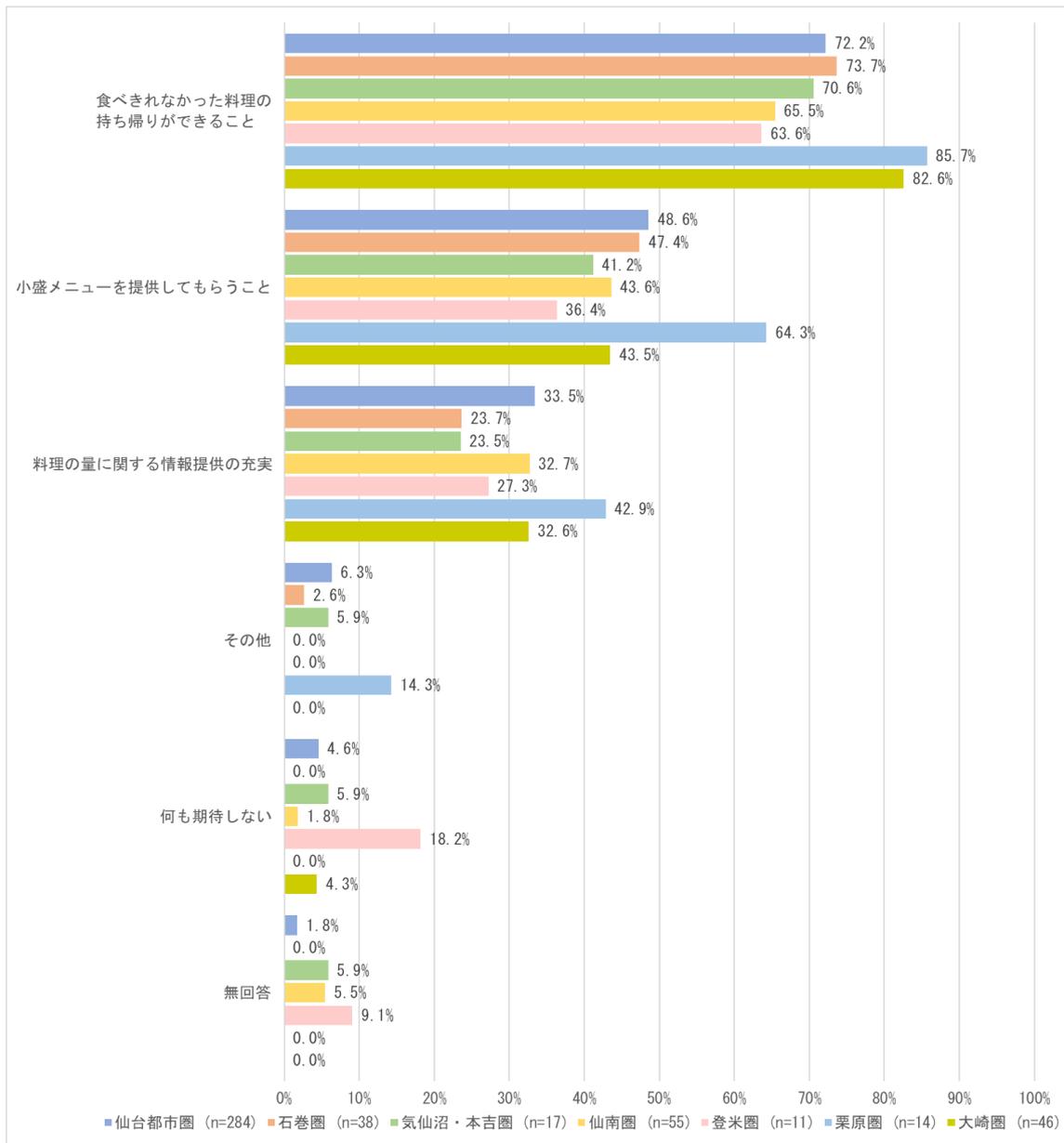
・年齢別では、「食べきれなかった料理の持ち帰りができること」、「小盛メニューを提供してもらうこと」及び「料理の量に関する情報提供の充実」と回答した人が 20 代では 90.5%、66.7%、52.4%で最も高かった。



(n=483)

※無回答は除く





<その他>

回答	件数	備考
注文量の確認・調整	4	40代, 60代, 70歳以上
苦手なものを除いてもらえるようにしてほしい	2	30代, 40代
子ども向けメニューの充実	1	40代
食べ残しを持ち帰りしやすい環境の整備	1	40代
その他	2	-

＜問 13＞食品ロス削減のために知りたい情報

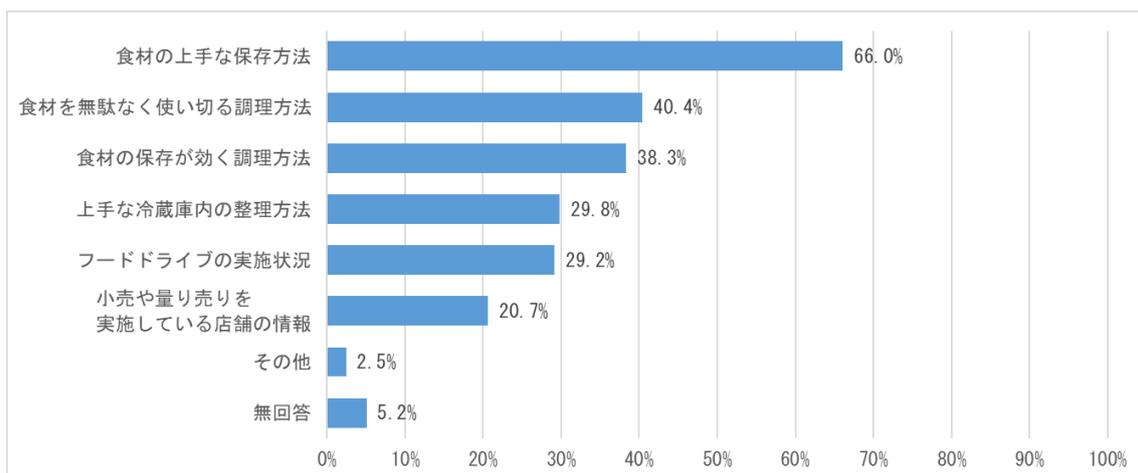
食品ロスを減らすために知りたい情報はありますか。

あてはまるもの全てに○を付けてください。

・「食材の上手な保存方法」と回答した人が 66.0%で最も高く、次いで「食材を無駄なく使い切る調理方法」が 40.4%、「食材の保存が効く調理方法」が 38.3%、「上手な冷蔵庫内の整理方法」が 29.8%、「フードドライブの実施状況」が 29.2%、「小売や量り売りを実施している店舗の情報」が 20.7%であった。

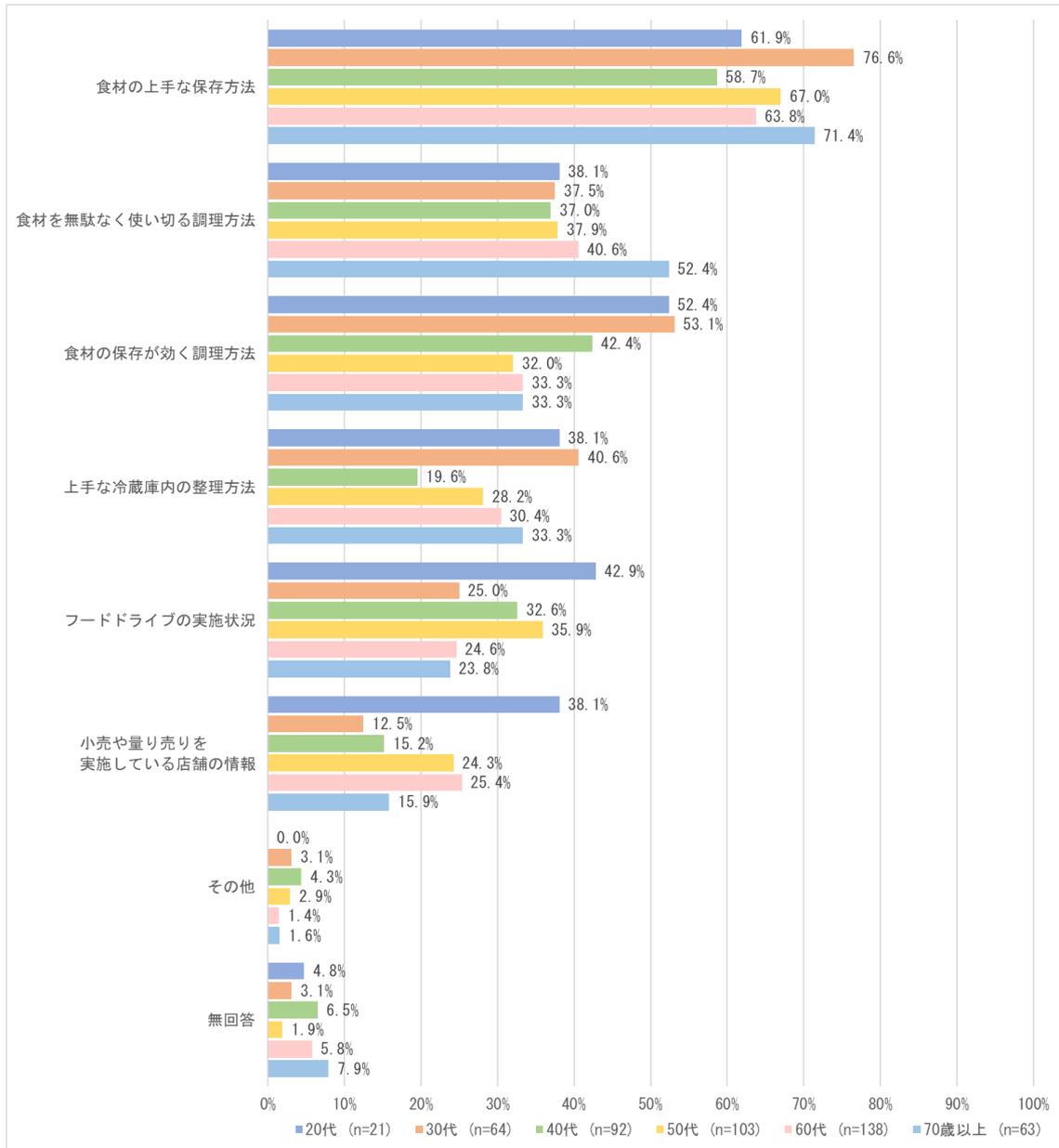
・年齢別では、「食材を無駄なく使い切る調理方法」と回答した人が、70歳以上で最も高かった。一方、「フードドライブの実施状況」及び「小売や量り売りを実施している店舗の情報」と回答した人は、20代で最も高かった。

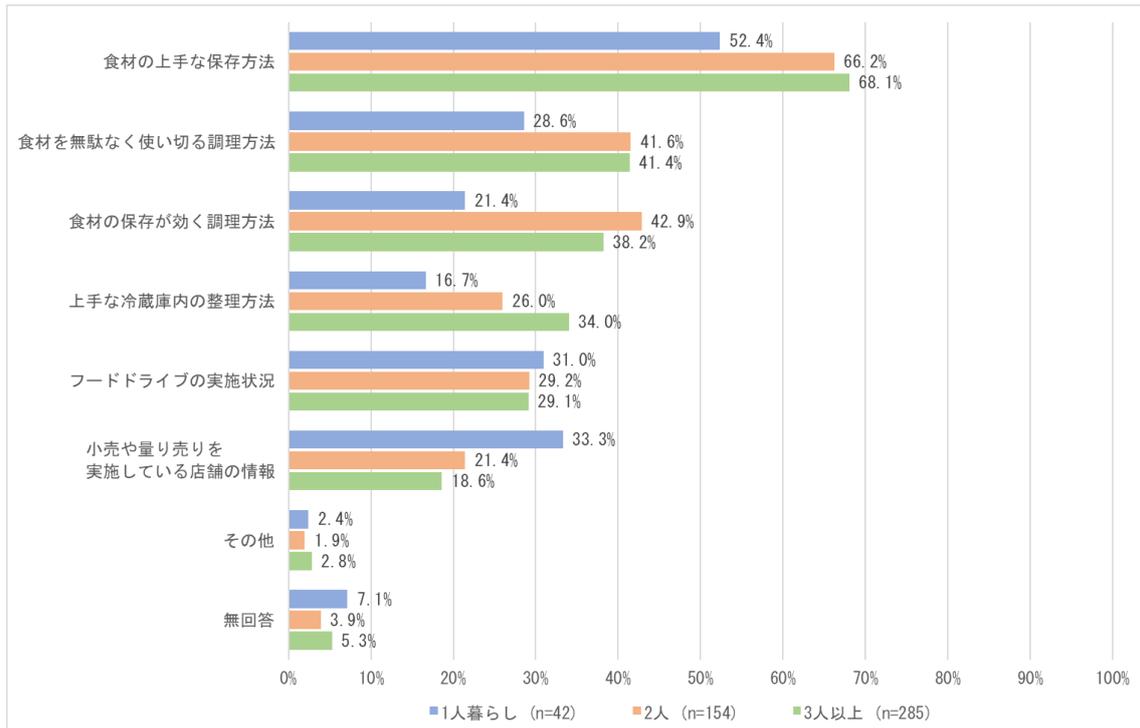
・世帯構成別では、「食材の上手な保存方法」、「食材を無駄なく使い切る調理方法」、「食材の保存が効く調理方法」及び「上手な冷蔵庫内の整理方法」と回答した人が1人暮らしに比べて2人及び3人以上の方が高かった。

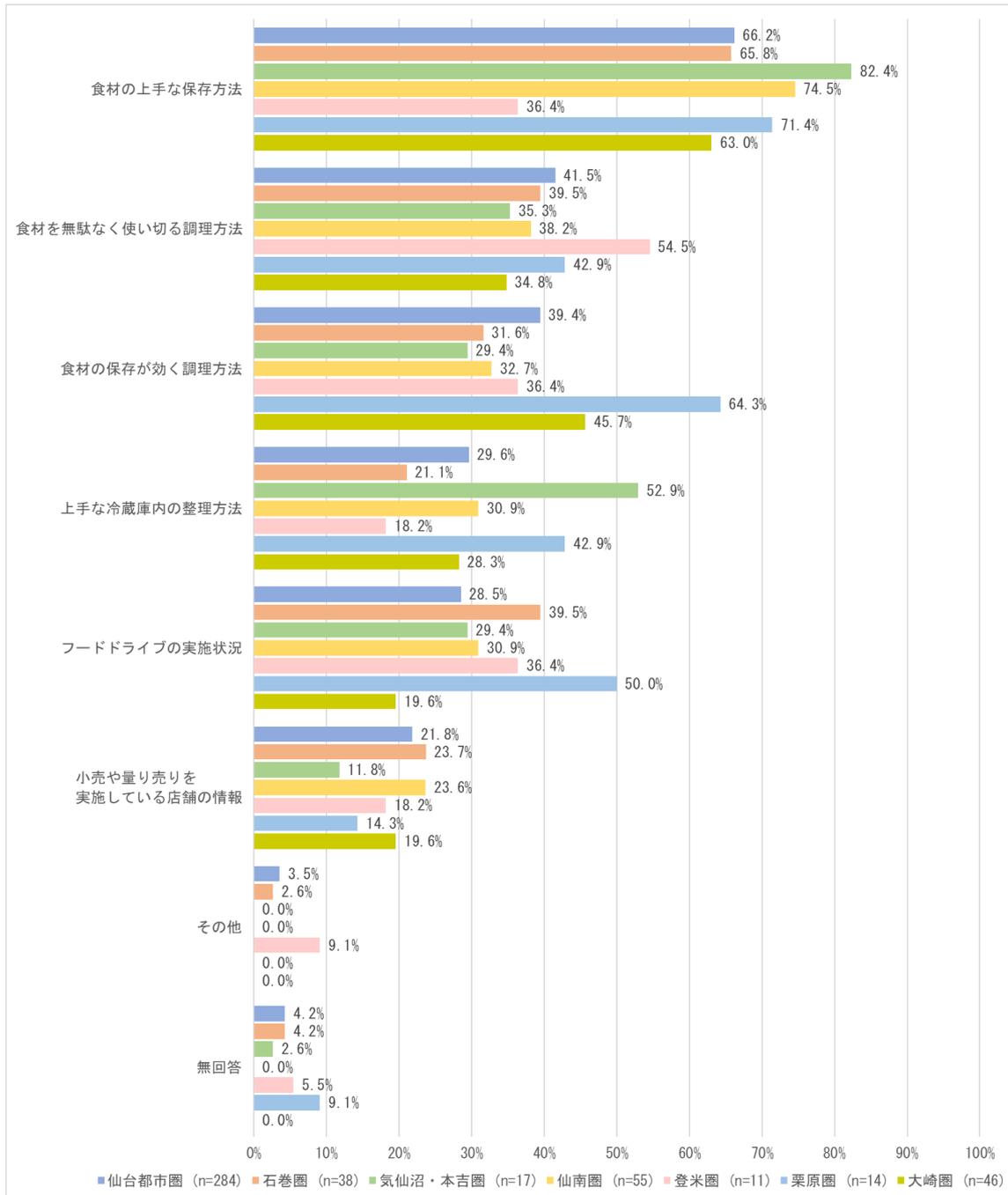


(n=483)

※無回答は除く







<その他>

回答	件数	備考
フードドライブ設置箇所に見える化	1	40代
期限の近い商品の値引き販売情報のネット配信	1	60代
その他	3	-

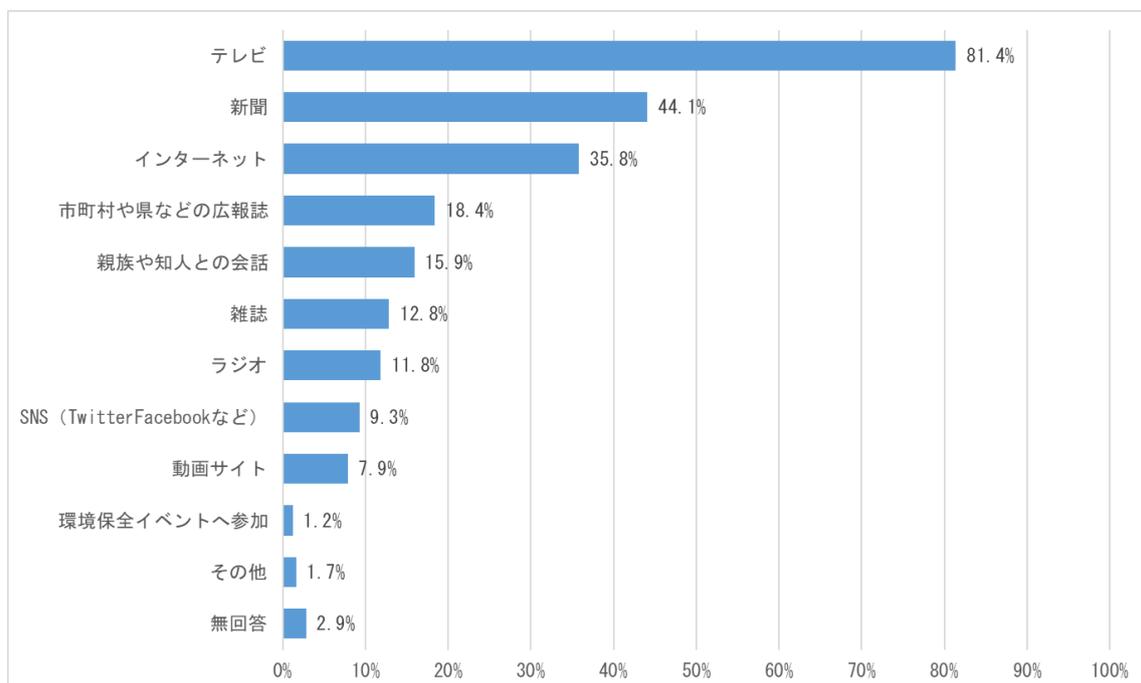
＜問 14＞食品ロス問題など環境に関する情報の入手先

あなたは食品ロス問題など環境に関する情報を何から入手していますか。

あてはまるもの全てに○を付けてください。

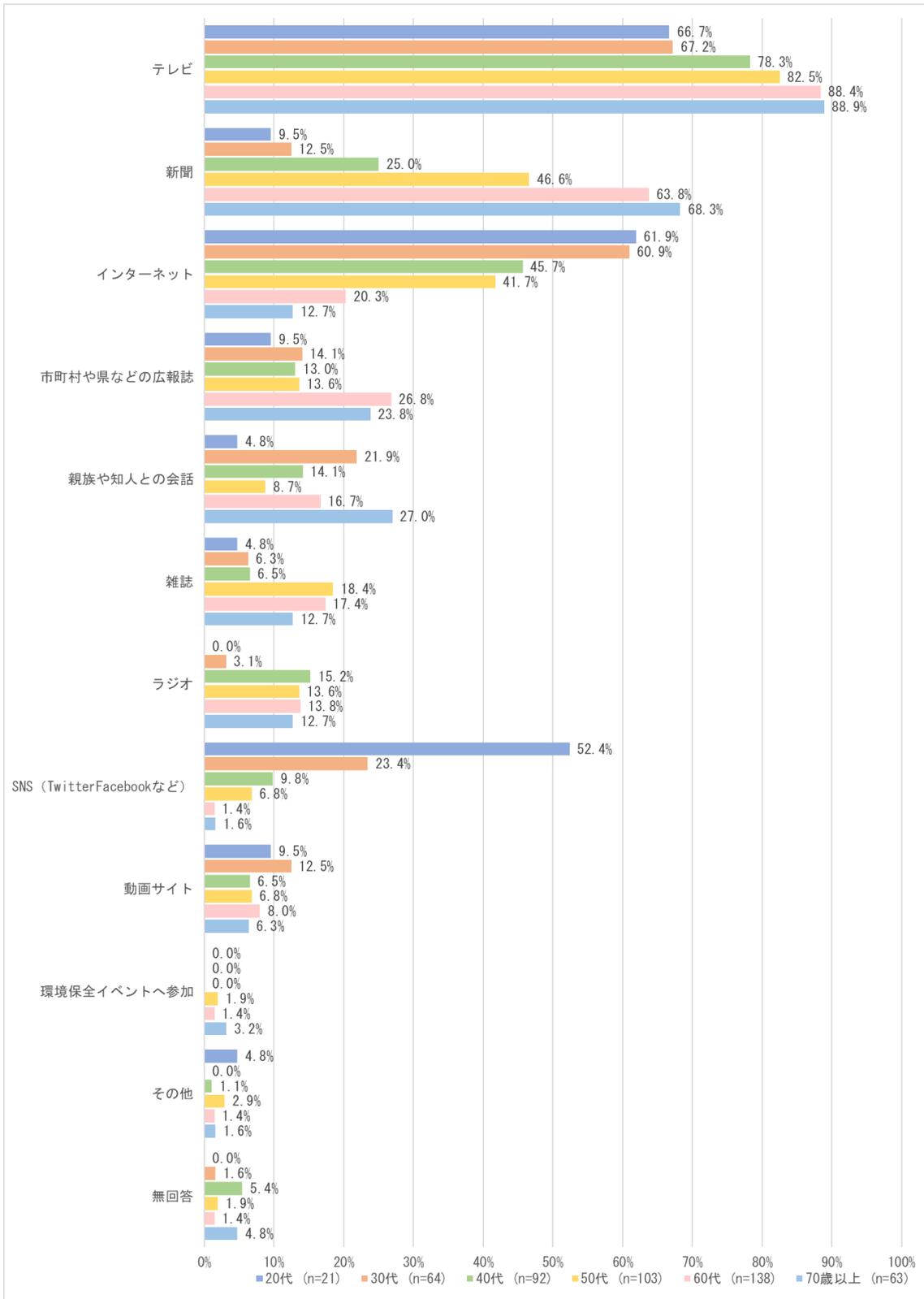
・「テレビ」と回答した人が 81.4%でも最も高く、次いで「新聞」が 44.1%、「インターネット」が 35.8%、「市町村や県などの広報誌」が 18.4%、「親族や知人との会話」が 15.9%、「雑誌」が 12.8%、「ラジオ」が 11.8%であった。

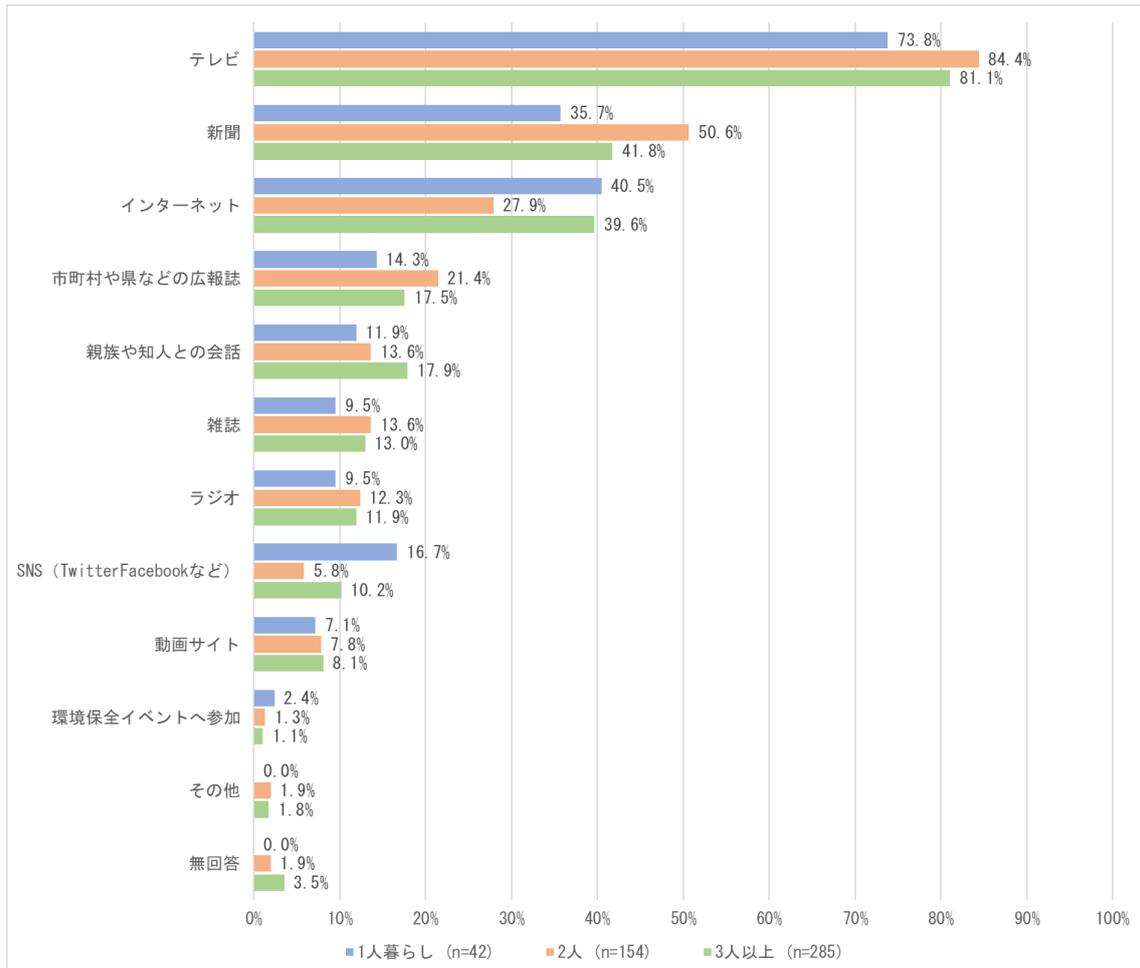
・年齢別では、概ね年代が上がるにつれ、「テレビ」及び「新聞」と回答した人の割合が高く、一方で「インターネット」と回答した人の割合が低くなる傾向であった。

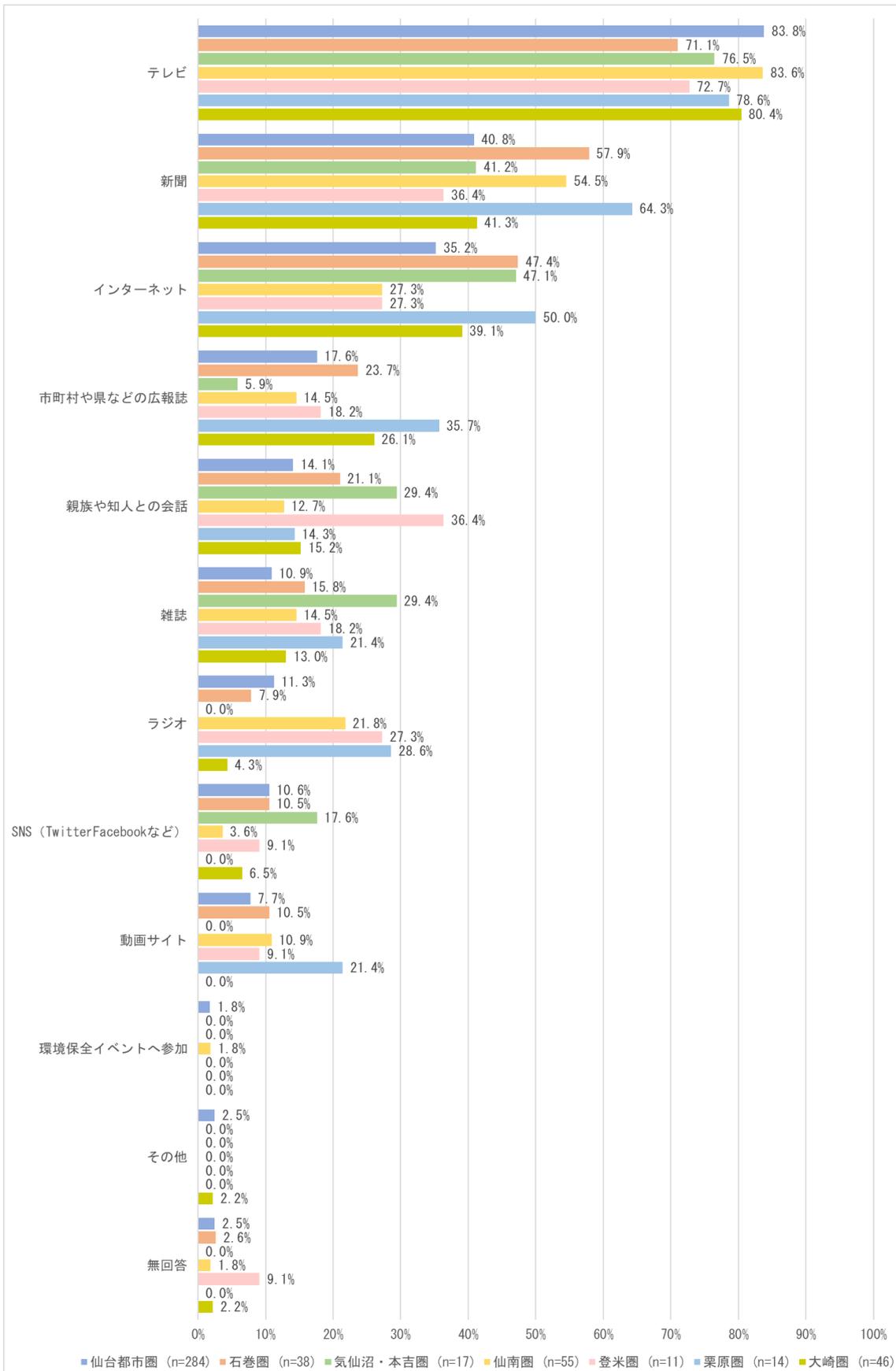


(n=483)

※無回答は除く







<問 15> 食品ロスを減らすための取組に対する意見

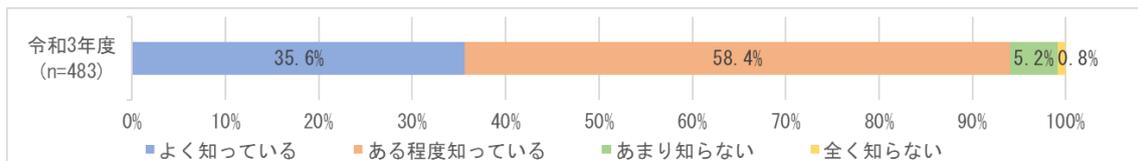
「食品ロス」を減らすため、一人ひとりや事業者が取り組まなければならないことについて、御意見がありましたら記入してください。

意見	
1. 作りすぎ・買いすぎについて (8件)	
・事業者は適量生産し、消費者も適量購入を心掛ける。(7件/30代, 40代, 60代)	
・コロナ禍で、スーパーの滞在時間を短くする為、前もって必要なものをメモし購入することで、無駄なものは一切買わなくなった。(1件/40代)	
2. 意識改革について (5件)	
・事業者と消費者のコミュニケーションの場が必要である。(1件/70歳以上)	
・国民全体が食品ロスについて意識する取組みが必要である。 (3件/40代, 60代, 70歳以上)	
・常に同じ商品があって当たり前といった認識を改める。(1件/50代)	
3. 賞味期限について (3件)	
・”賞味”期限の意識を改める。(2件/30代, 40代)	
・値引き率を高め、消費者の購入を促す。(1件/40代)	
4. 食べ残しについて (2件)	
・家族の好き嫌いにより残るため、一人一人が食べ物を無駄にしない意識が必要である。(2件/40代, 60代)	
5. フードドライブについて (2件)	
・開催日や場所の周知が必要だと思う。(2件/30代, 60代)	
6. その他 (6件)	
・小売業や飲食店から出る食品ロスは、量による処分料の検討, 家庭ごみのごみ袋の値上げなど, お金による規制 (1件/40代)	
・行政の本気のリード, 目標設定 (1件/60代)	
・海外の食品に頼りすぎず, 日本の生産者を支援する。(1件/30代)	
・大量消費をあおるようなCM内容の検討 (1件/60代)	他2件

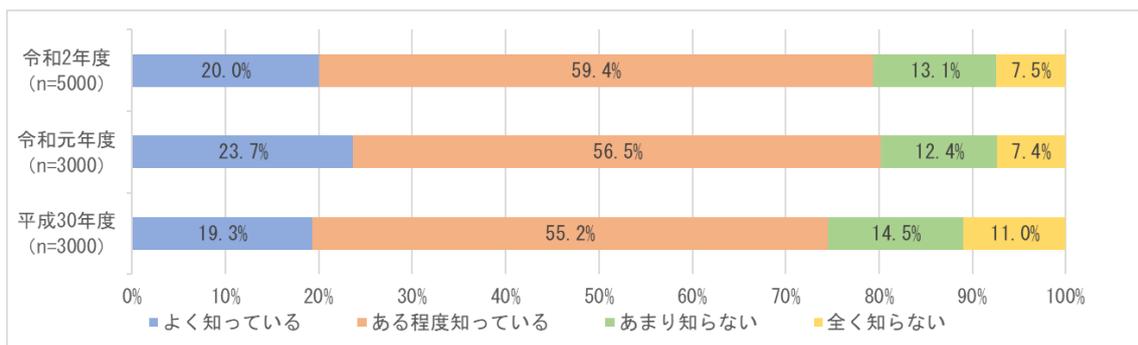
＜参考1＞食品ロス問題の認知度（消費者の意識に関する調査結果報告書との比較）

・平成30年度，令和元年度及び令和2年度の消費者の意識に関する調査結果報告書[国]では，「知っている」と回答した人が74.5～80.2%（「よく知っている」19.3～23.7%+「ある程度知っている」55.2～59.4%）であった。これに対して，令和3年度の県民アンケート調査結果[宮城県]では94.0%（「よく知っている」35.6%+「ある程度知っている」58.4%）となっており，相対的に高い傾向であった。

＜県民アンケート調査結果[宮城県]＞



＜消費者の意識に関する調査結果報告書[国(消費者庁)]＞



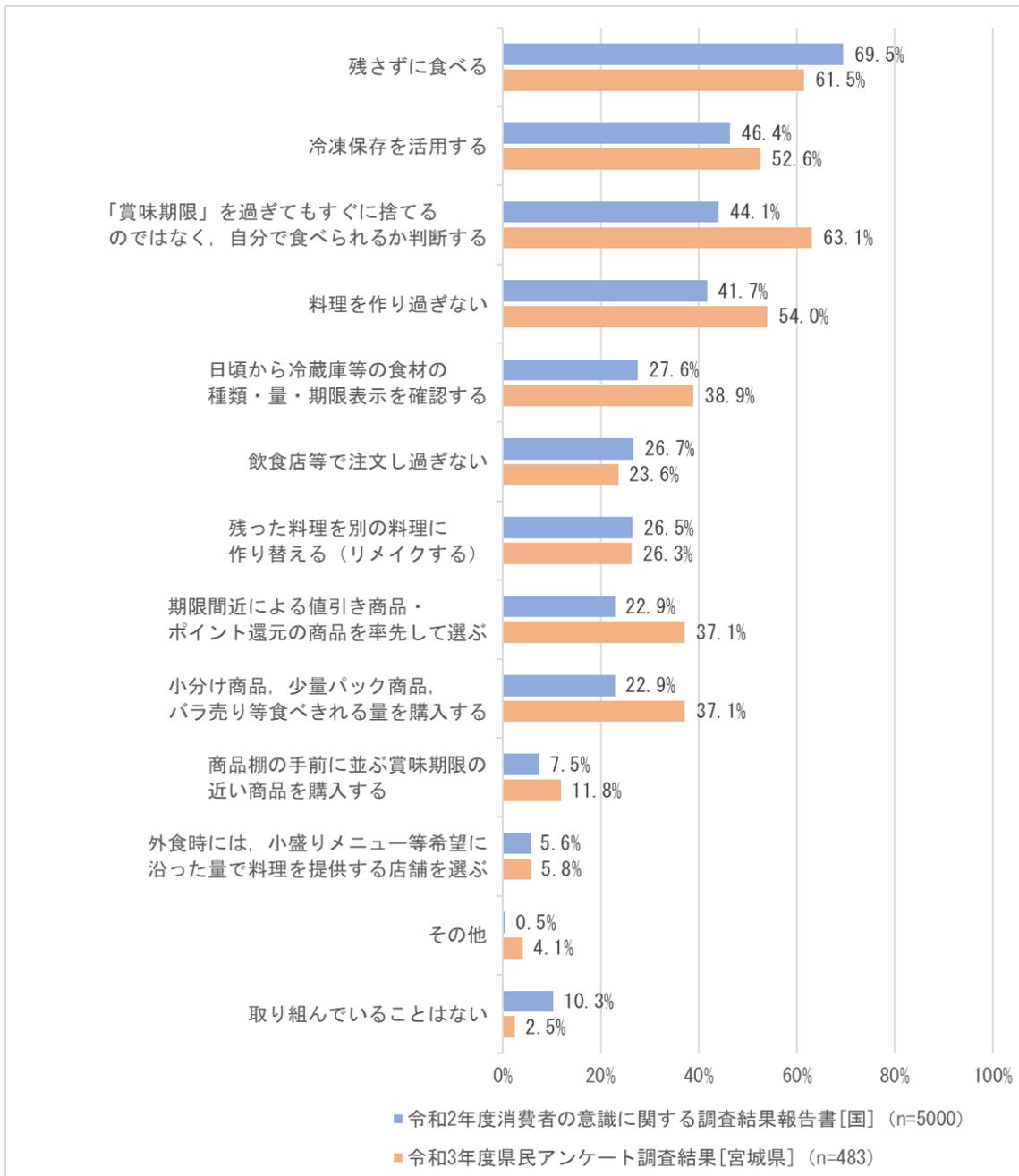
＜参考2＞食品ロスを減らすための取組

(消費者の意識に関する調査結果報告書との比較)

・食品ロスを減らすための取組について、令和2年度の消費者の意識に関する調査結果報告書[国]と令和3年度の県民アンケート調査結果[宮城県]を比較した。

「冷凍保存を活用する」、「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」、「料理を作り過ぎない」、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」、「期間間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」及び「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べられる量を購入する」と回答した人は、国よりも宮城県のほうが高い傾向であった。

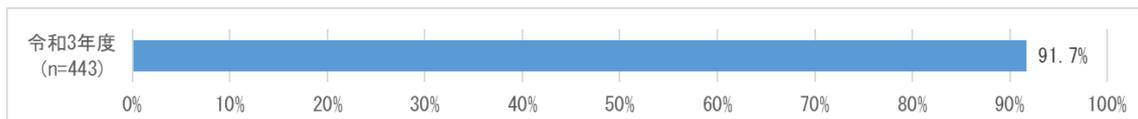
一方、「残さずに食べる」と回答した人は、国よりも宮城県のほうが若干低かった。



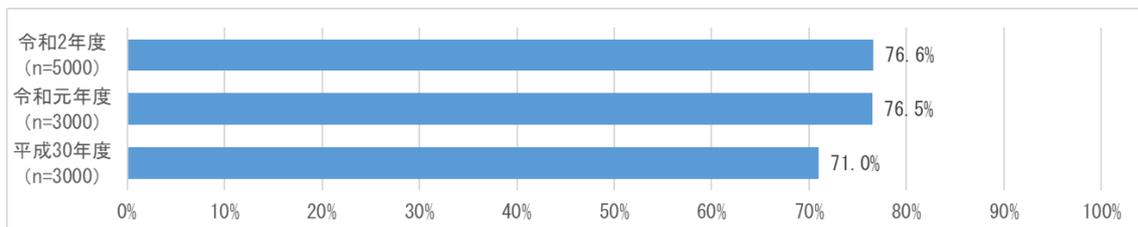
＜参考 3＞食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合
(消費者の意識に関する調査結果報告書との比較)

・食品ロス問題を「知っている」と回答し、食品ロスを減らすための「取組を行っている」と回答した人が平成 30 年度，令和元年度及び令和 2 年度の消費者の意識に関する調査結果報告書[国]では 71.0～76.6%であったが，令和 3 年度の県民アンケート調査結果[宮城県]では 91.7%と高い傾向が見られた。

＜県民アンケート調査結果[宮城県]>



＜消費者の意識に関する調査結果報告書[国(消費者庁)]>



＜参考資料＞食品ロスに関する県民アンケート調査票

あなたのことについてお聞きします。〈該当する箇所に○印を付けてください〉

- ①年齢 20歳未満 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上
- ②お住まいの世帯構成 1人暮らし 2人（夫婦，親子など） 3人以上
- ③居住市町村 （ ）市・町・村 お住まいの市町村名を記入してください。

問1

あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。
あてはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 全く知らない

食品ロス：売れ残りや期限を過ぎた食品，食べ残し，食品工場の製造過程，家庭での調理過程における廃棄など，本来食べられるのに廃棄されごみとなったもの

問2

あなたは、「賞味期限」と「消費期限」の違いを知っていますか。
あてはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 よく知っている
- 2 ある程度よく知っている
- 3 あまり知らない
- 4 全く知らない

賞味期限：おいしく食べることができる期限。この期限を過ぎても，すぐに食べられないということではありません。
消費期限：期限を過ぎたら食べない方がよい期限。

問3

あなたは、「フードドライブ」という活動を聞いたことがありますか。
あてはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 聞いたことがあり，内容をよく知っている
- 2 聞いたことがあるが，内容はよく知らない
- 3 聞いたことがない

フードドライブ：家庭で余っている食べ物（缶詰，乾麺，レトルトパウチ食品などの保存が効くもの）を役所，学校，職場，お店に設置されているボックスなどに持ち寄り，支援を必要とする方へと寄付する活動です。

問4

あなたは、「フードドライブ」などにより、食品を寄付したことがありますか。
あてはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 過去に寄付したことがあります、今後も寄付したい
- 2 過去に寄付したことはないが、今後は寄付したい
- 3 過去に寄付したことがあるが、今後は寄付しない
- 4 過去に寄付したことはないし、今後も寄付しない

問5

問4で「3 過去に寄付したことがあるが、今後は寄付しない」、または、「4 過去に寄付したことはないし、今後も寄付しない」と回答した方にお伺いします。
差し支えなければ、今後は寄付しない、今後も寄付しない理由について**あてはまるもの全てに○**を付けてください。

- 1 寄付できる食品がない（全部食べ切る、知人にあげるなど）
- 2 開催場所が遠い
- 3 いつ、どこで開催しているか情報がない
- 4 知らない人に提供したくない
- 5 その他（具体的に： _____)

問6

あなたは、生活の中で食品ロスを発生させていると思いますか。
あてはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 発生させており、その量は多いと思う
- 2 発生させているが、その量は少ないと思う
- 3 ほとんど発生させていないと思う
- 4 全く発生させていないと思う
- 5 わからない

問7

問6で、1～3を選択した方にお伺いします。
あなたが発生させている食品ロスはどのようなものですか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 自宅で調理した料理の食べ残し
- 2 購入した弁当・惣菜・デリバリー料理の食べ残し
- 3 野菜・果物・魚・肉・卵など生鮮食品
- 4 野菜・果物の食べられる部位（皮やヘタのむきすぎ）
- 5 牛乳・ジュース類
- 6 調味料・つゆ・だし類
- 7 購入した冷凍食品
- 8 自分で作り置きして冷凍・冷蔵した食品
- 9 保存食（缶詰、レトルトパウチ食品、乾麺など）
- 10 その他（具体的に： _____)

問 8

問 6 で、1～3 を選択した方にお伺いします。
食品ロスが発生した理由はどのようなものですか。
あてはまるもの**全てに○**を付けてください。

- 1 味が好みに合わなかった
- 2 食べきれなかった
- 3 後で食べようと保存していたが傷んでしまった
- 4 購入・保存したことを忘れて傷んでしまった
- 5 賞味期限が切れてしまった
- 6 その他（具体的に： _____)

問 9

新型コロナウイルスまん延の前後で、あなたの食生活に変化がありましたか。
家庭における調理、中食（※）、外食の状況及び食品ロスの量を教えてください。

※中食（なかしょく）：弁当購入やデリバリーサービスの利用など、調理済の食品を購入して家庭で食べることをいいます。

項目	① 以前より 増えた	② 以前と 変わらない	③ 以前より 減った
家庭で調理をする機会	1	2	3
出前・デリバリーサービスを利用する機会	1	2	3
惣菜・弁当（パン・おにぎりを含む）を購入して家庭で食べる機会	1	2	3
外食する機会	1	2	3
食品ロスの量	1	2	3

それぞれ○を
付けてくださ
い。

問 10

あなたは食品ロスを減らすために取り組んでいることはありますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 料理を作り過ぎない
- 2 残さずに食べる
- 3 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）
- 4 冷凍保存を活用する
- 5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、
自分で食べられるか判断する
- 7 小分け商品，少量パック商品，バラ売り等食べきれぬ量を購入する
- 8 商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する
- 9 期間間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ
- 10 飲食店等で注文し過ぎない
- 11 外食時には，小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 取り組んでいることはない

問 11

食品ロスを減らすため，顧客の立場として小売店に期待することはありますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 小分け商品，少量パック商品の充実
- 2 惣菜等の量り売り
- 3 商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品の購入の協力呼びかけ
- 4 消費者に対する賞味期限，消費期限に関する啓発
- 5 エコクッキングなど食品ロスができるだけ少ない料理方法の情報提供
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 何も期待しない

問 12

食品ロスを減らすため，顧客の立場として飲食店に期待することはありますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 食べきれなかった料理の持ち帰りができること
- 2 小盛メニューを提供してもらうこと
- 3 料理の量に関する情報提供の充実
- 4 その他（具体的に： _____）
- 5 何も期待しない

問 13

食品ロスを減らすために知りたい情報はありますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 食材を無駄なく使い切る調理方法
- 2 小売や量り売りを実施している店舗の情報
- 3 上手な冷蔵庫内の整理方法
- 4 食材の上手な保存方法
- 5 食材の保存が効く調理方法
- 6 フードドライブの実施状況
- 7 その他（具体的に： _____）

問 14

あなたは食品ロス問題など環境に関する情報を何から入手していますか。
あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 新聞
- 2 テレビ
- 3 ラジオ
- 4 動画サイト
- 5 インターネット
- 6 SNS（Twitter や Facebook など）
- 7 親族や知人との会話
- 8 市町村や県などの広報誌
- 9 雑誌
- 10 環境保全イベントへ参加
- 11 その他（具体的に： _____）

問 15

「食品ロス」を減らすため、一人ひとりや事業者が取り組まなければならないことについて、御意見がありましたら記入してください。

御意見欄